

事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)



公益財団法人九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

平成 30 年度事業報告について

事業報告

定款第 5 条に基づき、平成 30 年度は、以下の事業を実施した。(総括)

1. 創立 70 周年記念事業 (1) 事業概要 ①「九経調 70 年のあゆみー九州・沖縄・山口とともにー」の作成 ②「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究 ③九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催 ④ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供 (2) 募金活動の状況
2. 地域経済研究事業 (1) 自主研究事業 ①九州経済白書の刊行 ②月報等定期刊行物の発行 ③幹事会からの提案による自主研究 ④地域経済情報のデジタル配信 ⑤その他の事業 (2) 受託研究事業 (3) 九経調地域研究助成・顕彰事業
3. 講演会・セミナーの開催 (1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等 九州経済白書説明会 (2) 定例の講演会・セミナー ①九経調交流会 ②研究報告会 ③アジア経済講演会 ④調査技法セミナー ⑤経済講演会 ⑥地域研究顕彰事業研究発表会 (3) BIZCOLI でのセミナー・イベント ①イブニングセミナー ②地域経営セミナー ③共催セミナー ④九州国立博物館応援セミナー ⑤サイエンスカフェ ⑥ビズコリクラブ ⑦文化アートイベント ⑧まちづくりセミナー ⑨ビッグデータセミナー
4. 経済図書館 (BIZCOLI) 事業 (1) 地域経済図書館としてのサービス (2) 講演会・セミナー会場の運営
5. 経済団体等支援事業 (1) 福岡経済同友会からの事務局受託 (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局 (3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局 (4) 九州水フォーラム 2018 の事務局のサポート
6. 社会貢献活動等 (1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 (2) 大学への非常勤講師の派遣 (3) テレビ・ラジオ等への出演 (4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載 (5) インターンシップの受入等
7. 運営基盤の拡充 (1) 会員数の増加 (2) 理事会、評議員会、幹事会、企画委員会の開催 (3) 人材育成の強化

1. 創立 70 周年記念事業

(1) 事業概要

①「九経調 70 年のあゆみー九州・沖縄・山口とともにー」の作成

地域の未来を考える一助とするために、終戦直後から 70 年間の九州・沖縄・山口の経済社会の変化を、九経調のあゆみとともに整理して取りまとめ、平成 30 年 12 月末に刊行した。コラム風の文書スタイルを採り入れ、図表、写真を多数盛り込むことでわかりやすくまとめている。九経調と深い関わりのある方に、思い出や九経調への期待などをご寄稿いただいた。

②「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究

前年度に引き続き、30 年後の未来に関する文献調査と統計分析、ヒアリング調査を進め、報告書の執筆を進めている。報告書は、【総論】【各論（地域編）】【各論（産業編）】の 3 部構成で、令和元年秋頃に完成予定である。

③九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催

九州・沖縄・山口の各県において「未来を考えるシンポジウム」を開催している。平成 30 年度は、鹿児島、山口、沖縄の 3 カ所で開催した。

日時・会場	講師	テーマ	参加者数
【鹿児島】 11 月 15 日（木） 城山ホテル鹿児島	「鹿児島の未来の交通インフラを考える」 <基調講演> 京都大学大学院工学研究科教授 ■■■■■ 氏 <パネルディスカッション> コーディネーター： (株)九州経済研究所経済調査部長 ■■■■■ 氏 パネリスト： 国土交通省大臣官房技術総括審議官 ■■■■■ 氏 (株)岡本産業代表取締役社長 (株)オキス代表取締役 ■■■■■ 氏 武盛グローバルコンサルティング代表 ■■■■■ 氏 当会 調査研究部 ■■■■■	次の時代の交通インフラと モビリティマネジメント 鹿児島の未来を見据えた交 通インフラのあり方につい て	142 人
【山口】 1 月 22 日（火） ホテルサンルート 徳山	「稼ぐ事業・地域を創るために～Industry4.0 時代を迎えた地域戦略～」 <基調講演> (株)野村総合研究所 産業 IT イノベーション事業本部 兼コンサルティング事業本部主席研究員 ■■■■■ 氏 <パネルディスカッション> コーディネーター： (株)野村総合研究所 産業 IT イノベーション事業本部 兼コンサルティング事業本部主席研究員 ■■■■■ 氏 パネリスト： (株)ウェブアイ代表取締役社長 ■■■■■ 氏 (株)グルーヴノーツ代表取締役社長 ■■■■■ 氏 (株)三松代表取締役社長 ■■■■■ 氏	Industry4.0 時代の地域戦略 稼ぐ事業・地域を創るために ～Industry4.0 時代を迎えた 地域戦略	207 人

<p>【沖縄】 2月27日(水) ANAクラウン プラザホテル沖縄ハ ーバービュー</p>	<p>「プレミアム沖縄創生戦略～観光 1,000 万人時代の先 を見据えて」 <基調講演> 中央大学経済学部教授 ■■■氏 <パネルディスカッション> コーディネーター： (一財)日本経済研究所専務理事(代表理事) 新産業 創造業務統括兼地域未来研究センター・エグゼクティ ブフェロー ■■■氏 パネリスト： 沖縄ツーリスト(株)代表取締役会長 ■■■氏 (株)前田産業代表取締役社長 ■■■氏 (株)りゅうぎん総合研究所代表取締役社長 ■■■氏 中央大学経済学部教授 ■■■氏</p>	<p>プレミアム地方創生と沖縄 プレミアム沖縄創生戦略～ 観光 1,000 万人時代の先を見 据えて</p>	<p>163 人</p>
---	---	---	--------------

④ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供

オープンデータ・ビッグデータを活用した「地域経済分析プラットフォーム」の立ち上げに向け、クラウド等の基盤整備や、データの収集・整理を進めた。同プラットフォーム上では、当会の既存の刊行物に掲載しているデータに加え、新たに収集するデータをデジタルで提供するほか、それらのデータを自ら分析・加工した新たな経済指標・サービスを提供できるよう準備を進めた。なお、収集するデータの種類や見せ方については将来的な想定ユーザーから意見を聴取し、そのニーズを反映しつつ構築を進めている。同プラットフォーム上で提供予定のコンテンツは以下の通りである。

ア) 経済動向データ

『九州経済調査月報』において景気分析に用いている月次データ等を、地域別(県別等)かつ全国について可視化する。

イ) 即時景気分析システム

既存の経済動向データや新たに収集したビッグデータを活用し、早期かつ精緻な景気分析を行なう。また、都道府県別の景気動向指数を提供する。

ウ) 経済構造データ/地域経済マップ

『図説九州経済』に掲載しているような地域別の社会経済の年次データについて可視化する。

エ) 九州経済ヘッドライン

月 2 回メルマガで提供しているヘッドラインニュースを整理、データベース化した上で提供する。

オ) ビッグデータシステム

独自に収集したビッグデータを用いた地域経済動向の可視化(宿泊予約サイトの API を活用した全国の宿泊プランデータ等)。

カ) 宿泊施設レベニューマネジメント支援システム

宿泊施設の収益最適化に資する、宿泊プラン完売予測システム等の提供。

※本システムの開発にあたっては、長崎大学 ICT 基盤センターの一藤准教授、ならびに早稲田大学創造理工学部蓮池准教授と共同研究契約を締結して研究を進めている。福岡市を中心に、複数の宿泊先との連携を図り、宿泊関連データの利活用の協議を進めている他、上述の宿泊予約サイトの情報等を組み合わせて、レベニューマネジメント支援システム構築に向けた研究を進めている。

(2) 募金活動の状況

平成 30 年度末時点の募金活動の状況は次のとおりである。

- ・ 募金目標額 1 億円
- ・ 募集期間 平成 28 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
- ・ 依頼先数 119 社
- ・ 寄附承諾 96 社／1 億 579 万円

2. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」を中心に取り組んでいる。

①九州経済白書の刊行

『スポーツの成長産業化と九州経済』 平成 31 年 2 月刊行

「九州経済白書」は、2 月 1 日に「スポーツの成長産業化と九州経済」のタイトルで公表した。令和元年のラグビーワールドカップ、令和 2 年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、スポーツに対する関心がこれまで以上に高まる中、成長産業化が期待されるスポーツ産業について、その実態を概観し、新たなビジネス・地域活性化の芽や課題を明らかにした。その上で、これらの大型スポーツイベント後も持続可能な形でスポーツの力を地域活性化に生かしていくための方策を取りまとめた。

②月報等定期刊行物の発行

1) 九州経済調査月報

毎号、特集としてテーマを設定し、一体性を持たせた編集を行った。ヘルスケア産業（6 月号）や海洋エネルギー（10 月号）、スマート農業（2 月号）、スマートモビリティサービス（3 月号）といった新しい産業のほか、インバウンド（7 月号）や農産物輸出（8 月号）、Society5.0（9 月号）、ポスト支店経済（4 月号）など、社会的関心の高いテーマの特集化に力を入れた。また、半導体産業の新たな動きなど、九州の基幹産業に関する特集も実施した。

発行日	内 容
5 月号 4 月 27 日（金） 発行	特 集 九州の地域研究 (Report) 2017 年度九経調地域研究助成・顕彰事業概要と審査結果、研究発表会 災害派遣時の保育支援 八女市予約型乗合タクシーの評価 戦略的に創るコンパクトシティ
6 月号 5 月 31 日（木） 発行	特 集 ヘルスケア産業 (Report) 九州における次世代ヘルスケアビジネス 次世代ヘルスケアサービスにおける情報流通基盤の構築

		機械への生成：人類にとって AI・ロボットとはなんでありうるか
7月号 6月28日(木) 発行	特集 (Report)	インバウンド 1,000 万人時代に向けた九州の戦略 インバウンド 1,000 万人時代に向けた九州の戦略 超広域連携による九州の新たなインバウンド戦略 スポーツと地域活性化 五つ星ホテルが開く九州のプレミアム経済 大分県における訪日外国人旅行者の現状 クルーズ船客の受入れ体制 ナイトタイムエコノミーの創出 (One point) ビッグデータでみる高級宿泊施設の分布 (連載) 価値創造の源流 (43) ニシム電子工業㈱
8月号 7月30日(月) 発行	特集 (Report)	一次産業の成長産業化に向けたブランド戦略 一次産業の成長産業化に向けたブランド戦略 イチゴ新品種「恋みのり」の挑戦 香港向け輸出に見る九州の農産物輸出ビジネスの展望 宮崎県内「畜産クラスター」からの発信 日本の農業の 30 年後を問う (One point) 九州の農水産物・飲食料品の品目別輸出状況 (連載) 価値創造の源流 (44) アイスマン㈱ アグリプレナーの実践 (19) 新しい食肉用動物「ダチョウ肉」の普及に取り組む KO コープ 九州の文化・芸術 (4) 喜如嘉の芭蕉布
9月号 8月30日(木) 発行	特集 (Report)	九州の Society5.0 企業 九州の Society5.0 企業 九州における地域未来牽引企業の特徴 地方中小都市における知識産業集積の可能性 イノベーション創出に向けた福岡市のスタートアップ支援策 ドローンビジネスの潮流と九州での実戦ポテンシャル 民間農業ビジネススクール AGSA の挑戦 (連載) 価値創造の源流 (45) ㈱ロジカルプロダクト
10月号 10月2日(火) 発行	特集 (Report)	九州の多様性を生かした海洋エネルギー開発 九州の多様性を生かした海洋エネルギー開発 九州における海洋エネルギー開発の動向 北九州市響灘地区洋上風力産業拠点の形成による地域振興・雇用創出 2018 年度九州経済の見通し (改訂) (連載) 九州の文化・芸術 (5) 久米島紬 価値創造の源流 (46) (一社) ジャパン・コスメティックセンター
11月号 10月31日(水) 発行	特集 (Report)	シリコンアイランド九州の新しい地平 シリコンアイランド九州の新しい地平 半導体産業と九州のポテンシャル ビッグデータ時代におけるシリコンアイランド九州の可能性 IoT 社会を支える福岡の半導体関連産業 IoT/AI 時代を睨んだ九州におけるミニマルファブの展開 半導体関連企業の新事業展開 (連載) 価値創造の源流 (47) フェニテックセミコンダクター㈱鹿児島工場
12月号 11月29日(木) 発行	特集 (Report)	九州における「新しい福祉」の萌芽 九州における「新しい福祉」の萌芽 企業と福祉の接点に生じる共通価値～就労支援からみる新たな取り組みの視点～ 仕事と介護の両立の隠れた問題～介護によるプレゼンティーズム～

	<p>(One point) 雇用面からみた九州地域の医療・福祉業</p> <p>(連載) 地域 SDGs とスポーツ (1) スポーツの力が解決する地域課題 地域 SDGs とスポーツ (2) 全日本トライアスロン宮古島大会 九州の文化・芸術 (6) 福博喫茶文化小史</p>
<p>1 月号 12 月 26 日 (水) 発行</p>	<p>特 集 九州の新たな 1 年</p> <p>(Report) 九州の新たな 1 年 プラス成長維持も、正念場の一年 経済・産業で振り返る平成 地域創生のプレミアム (付加価値) 戦略～稼ぐ力で上質なマーケットを つくり出す～</p> <p>(連載) 地域 SDGs とスポーツ (3) ギラヴァンツ・オープンマインドプログラム</p>
<p>2 月号 1 月 31 日 (木) 発行</p>	<p>特 集 九州におけるスマート農業の未来</p> <p>(Report) 九州におけるスマート農業の未来 スマート農業の実現に向けた取り組みの現状と今後の展望 九州農政局におけるスマート農業推進に関する取り組み 九州におけるスマート農業の可能性</p> <p>(One point) 東京では「食べ物」、大阪では「温泉」が九州観光のキラーコンテンツ</p> <p>(連載) アグリプレナーの実践 (20) 南九州のサツマイモを世界に展開するくしま アオイファーム</p>
<p>3 月号 3 月 4 日 (月) 発行</p>	<p>特 集 スマートモビリティサービス</p> <p>(Report) スマートモビリティサービス モビリティ 2.0 時代の到来 ～「スマホ化する自動車」が地域、そして日本経済の活性化を促す～ 移動革命と MaaS 西日本鉄道とトヨタによるマルチモーダルモビリティサービス「my route」実証 実験 鹿児島島の未来の交通インフラを考える</p> <p>(One point) 九州地域における交通シェアリングビジネスの現状</p>
<p>4 月号 4 月 4 日 (木) 発行</p>	<p>特 集 ポスト支店経済</p> <p>(Report) ポスト支店経済 九州における年齢階級別人口移動 ポスト支店経済期における福岡の都市成長と九州</p> <p>(One point) 10 万人を超えた九州の外国人労働者数</p>

2) データ九州 (九州経済調査月報付録)

データ九州は、月報付録として年 4 回発行している。9 月号では、Society5.0 の実現に求められる技術分野で活躍する企業を集めた「九州・山口の Society5.0 企業 (2018)」を 10 月号、3 月号では設備投資動向をまとめた「九州・山口の設備投資 (2018 上半期 (1～6 月)、下半期 (7～12 月))」を発行した。4 月号では、「九州・山口の海外進出 2018」を発行した。

9 月号	データ九州 (No1164)	「九州・山口の Society5.0 企業 (2018)」
10 月号	データ九州 (No1165)	「九州・山口の設備投資 (2018 上半期 1～6 月)」
3 月号	データ九州 (No1166)	「九州・山口の設備投資 (2018 下半期 7～12 月)」
4 月号	データ九州 (No1167)	「九州・山口の海外進出 2018」

3) 2019年版 図説九州経済

九州・沖縄・山口の経済を、図表やデータで分かりやすく解説したもので、毎年1回刊行している。2019年版は、海外からのお客様のニーズを意識し、図表タイトル等や凡例での英語表記を充実させた。

『2019年版 図説九州経済』

平成30年10月17日刊行

4) メールマガジン（九経調ニュースレター）

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月2回配信した他、当会主催・共催のセミナー等の案内、当会の刊行物の案内を配信した。

メールマガジン配信件数 122 件 （平成30年4月1日～平成31年3月31日）

③幹事会からの提案による自主研究

「Society5.0を主導する九州の企業と事業」をテーマに、上期は、調査全体の設計（九州のSociety5.0関連企業の事例集の作成など）と、「九州・山口のSociety5.0企業」リスト作成を進めた。その結果、九州・山口の関連企業約300社を抽出し、リストは月報9月号付録「データ九州」で発表した。下期は、本格的な調査に移行し、事例集作成のための企業ヒアリングや事例分析などを進めた。報告書は6月末の完成を予定している。

◆『Society5.0を主導する九州の企業と事業』報告書構成（案）

第1章：はじめに～Society5.0と九州での対応分野～

第2章：“まち”の変化に貢献するSociety5.0

第3章：“ひと”の変化に貢献するSociety5.0

第4章：“しごと”の変化に貢献するSociety5.0

第5章：九州におけるSociety5.0企業・事業の特徴

おわりに

④地域経済情報のデジタル配信

創立70周年記念事業で構築する情報プラットフォーム等を活用し、月報、データ九州、図説九州経済を始めとする地域経済情報のデジタル配信に向けて準備を進めた。

⑤その他の事業

地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部等との意見交換会などを行った。

1) 九州・山口地方銀行調査担当部長会議

昭和42年度より毎年2回、九州・沖縄・山口の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っている。九経調の参加・講演が恒例となっている。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
6月5日 (火)	九州・山口地方銀行調査担当部長会議（佐世保）	「30年後に向けた九州・山口の発展戦略」	■■■■（講演）	15人
2月28日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当部長会議（熊本）	「スポーツの成長産業化と九州経済」	■■■■（講演）	13人

加盟機関

㈱FFG ビジネスコンサルティング	(公財) 地方経済総合研究所	㈱りゅうぎん総合研究所
㈱ちくぎん地域経済研究所	㈱大銀経済経営研究所	㈱おきぎん経済研究所
㈱佐賀銀行総合企画部	(一財)みやぎん経済研究所	(一財) 山口経済研究所
㈱長崎経済研究所	㈱九州経済研究所	(公財) 九州経済調査協会

2) 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟しており、3回の会合に参加した。6月の会合では、当会は「ITSが拓く地域経済活性化」を発表した。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
6月6日 (水)	九州・沖縄ブロック総会・研究事例発表会・交流会（福岡）	事例発表「ITSが拓く地域経済活性化」	■■■■ 部長（報告者）、■■■■ 研究員	17人
11月29日 (木)	九州・沖縄ブロック意見交換会	講演「伊都キャンパス移転とその効果」 視察「九州大学伊都キャンパス視察」	講師：■■■■ 氏 (九州大学副学長) 九経調参加者 ■■■■ 副部長、■■■■ 主査、■■■■ 研究員	14人
3月14日 (木)	九州・沖縄ブロック若手研究員交流会	講演「都市・地域のグローバル競争戦略」 論文発表： ①「沖縄県内の交通渋滞の現状及びその解消に向けた政策案」 ②「スポーツコミュニティによる防災力向上に関する一考察」	講師：■■■■ 氏 (立命館アジア太平洋大学准教授) (一財) 南西地域産業活性化センター (公財) 福岡アジア都市研究所 九経調参加者 ■■■■ 研究員、■■■■ 研究員、■■■■ 研究員	17人

九州・沖縄ブロック加盟機関

(公財)福岡アジア都市研究所	㈱よかネット	㈱ちくぎん地域経済研究所
(一財) 南西地域産業活性化センター	(公財)九州経済調査協会	

3) 国内主要会議、国際会議、意見交換会等

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
4月7日 (土)	(一社) 高齢社会共創センター 東京大学高齢社会総合研究機構	第1回リビングラボ・ネットワーク会議（日本・スウェーデン合同会議）	■■■■ 研究員	100人
5月9日 (水)	アジア太平洋地域 ITS フォーラム 2018 福岡	ITSが拓く地域経済活性化	■■■■ 主任研究員 (報告)	70人

5月30日 (水)	福岡-釜山の交流拡大に向けたシンポジウム～日韓シンクタンク合同成果報告会(福岡市)	ビッグデータを活用した宿泊施設日次稼働率予測システム 道路情報システム(ITS)が拓く地域経済活性化	■■■■ 部長(報告)、 ■■■■ 主任研究員(報告)	45人
8月31日 (金)～9月1日 (土)	第13回福岡・釜山フォーラム、釜山会議2018(釜山市)	福岡・釜山を起点とした日韓パートナーリング	■■■■ 理事長(第1セッション報告)、■■■■ 部長	70人
9月26日 (水)	国際社会学会議(ISSC)、九州大学、日本学会議、科学技術研究機構(JST)	第4回World Social Science Forum『持続可能な未来のための生存・安全の確保』	■■■■ 研究員	500人
10月17日 (水)～19日 (金)	日韓海峡圏研究機関協議会	日韓海峡圏研究機関協議会総会会議・研究報告会「人口問題と地域活性化」	■■■■ 研究員、■■■■ 研究員	50人
11月20日 (火)	九州経済国際化推進機構	第17回環黄海経済・技術交流会議「太陽光発電 O&M ビジネスの展望と韓国・中国でのビジネス展開可能性」	■■■■ 次長	312人

4) 東京大学地域未来社会連携研究機構との連携事業

地域経済社会の発展に寄与することを目的に、平成30年4月1日、東京大学地域未来社会連携研究機構と連携協定を締結した。3つの連携内容は、1.シンポジウムやワークショップ、共同研究等を通じた地域研究の推進、2.地域の課題に応えるプロフェッショナル人材の育成・交流、3.「地域未来投資促進法」等の国や自治体の各種事業との連携とし、当面、2.の連携内容に即して、当会自主研究や周年事業での技術的サポートおよび情報交換等進める予定である。

(2) 受託研究事業

平成30年度の受託研究は、計62本のプロジェクトに取り組んだ。

平成30年度は、地方自治体において総合計画や新しい法律の施行に沿った行政計画策定の業務が多く、5市の総合計画、および基本計画策定支援業務を受注した。また、前年度から続いて観光分野の受託調査も多く、平成30年度はアジアのみならず、欧米豪やFIT(海外個人旅行)に向けた九州観光のプロモーションを図るための基礎的調査を複数手がけ、九州の観光戦略に繋げる役割を果たした。

その他の産業分野については、ロボット産業やビッグデータ/IoT関連のメインプレイヤーとSIer(システムインテグレーター)の技術・業界動向調査を手がけ、それら産業振興に資する産学連携施設、およびオープンイノベーション拠点のあり方など、九州における次世代産業の振興に繋がる受託調査も行った。

【分野別受託研究一覧】

(統計作成・分析)		
1	地域別支出総合指数(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
2	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	㈱クープス(福岡市)
3	景気ウォッチャー調査(九州地域)	三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱(内閣府)
4	図説九州経済2019のGISデータ整理業務	九州電力(株)
5	中小企業の動向分析業務	福岡県
(地方創生)		

6	にしきまるごと創造プロジェクト運営支援業務	錦町
7	「第2次佐賀市総合計画」及び「佐賀市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の見直しに向けた基礎調査分析業務	佐賀市
8	人口減少問題講演会開催業務	佐賀市
9	「下関地域商社／海外販路開拓支援事業」に係る展開可能性事業者調査業務	下関市
(地域振興)		
10	行橋市における経済波及効果に関する分析業務	㈱日本経済研究所
11	九州経済を考える懇談会	(一財)九州地域産業活性化センター
12	地域政策デザイナー養成講座支援事業	地域政策デザイナー養成講座実行委員会
13	みやま柳川 IC 北地区工業団地整備による経済波及効果推計業務委託	みやま市
14	九州大学学術研究都市推進機構中期事業計画策定支援業務委託	(公財)九州大学学術研究都市推進機構
15	第19回 FINA 世界水泳選手権 2021 福岡大会に係る経済波及効果調査委託	第19回 FINA 世界水泳選手権 2021 福岡大会組織委員会
16	うるま市産業基盤整備計画基本構想策定事業	うるま市
(産業振興)		
①産業全般		
17	九州オープンイノベーションセンター構想研究会で利用する報告書作成に関する業務委託	(一財)九州地域産業活性化センター
18	北九州学術研究都市産学連携施設の機能と今後のあり方に関する基礎調査	北九州市
②電子部品・デバイス関連		
19	アジア半導体機構企画・運營業務	アジア半導体機構
20	GaN系半導体のアプリケーション調査	国立大学法人名古屋大学
③環境・資源エネルギー		
21	平成30年度地域中核企業創出・支援事業(太陽光発電の3R事業化促進事業)	九州経済産業局
22	自然エネルギーの普及と促進に係る事業(九州グリーン電力基金事業)における太陽光発電所の中古査定・評価等に関する調査	九州環境エネルギー産業振興機構(K-RIP)
23	地域の特性や資源を活かした分散型エネルギーシステム導入等事例集作成業務	福岡県
24	福岡県再生可能エネルギー導入支援システムに係るデータ更新業務	福岡県
④観光		
25	福岡県観光動態調査業務	福岡県
26	九州国立博物館来館者・居住者調査業務	福岡県立アジア文化交流センター
27	福岡市における新観光・MICEの課題抽出及び対応策検討業務委託	福岡市
28	欧米豪をターゲットとした九州観光関心度等の基礎調査	九州運輸局
29	九州における訪日外国人旅行者消費動向等調査事業	九州運輸局
30	九州観光に関する旅行者インサイト調査業務	(一社)九州観光推進機構
31	九州・中四国地域における観光振興事例調査	㈱北海道二十一世紀総合研究所
32	九州アジア観光アイランド特区ガイド活用事業(特区ガイド実態調査)	(一社)九州観光推進機構
⑤医療・福祉		
33	高齢社会課題解決に向けた共創拠点の構築	(国研)科学技術振興機構
34	平成30年度福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市
35	生活支援体制整備事業連携支援・調査業務委託	福岡市
36	大牟田市地域医療・介護連携ビジョン推進支援業務	大牟田市
37	IoTを用いた運動行動変容のためのプログラム開発：フレイルの観点から	(国研)日本医療研究開発機構

38	日本のリビング・ラボ推進現況と主要活動に関する報告書	科学技術政策研究院
39	福岡県ジェネリック医薬品アンケート及びヒアリング調査業務	福岡県
⑥新産業・新技術		
40	アジア半導体機構企画・運営業務	アジア半導体機構
41	平成 30 年度「地域中核企業創出・支援事業：産学連携・ベンチャー活用等による成長分野(医療・ヘルスケア、農林水産・食品等)展開」における大学シーズマップ作成に係る請負業務	(一財)九州地域産業活性化センター
42	平成 30 年度地域ものづくり企業の生産性革命に向けた「北九州地域を核としたシステムインテグレータ・ネットワーク構築事業」に係るシステムインテグレータ実態調査業務委託	(公財)北九州産業学術推進機構
43	介護ロボットの安全性検証施設に関する調査業務	(公財)北九州産業学術推進機構
(社会資本)		
44	福岡県自転車利用環境に関するアンケート調査	福岡県
45	平成 30 年度九州地域の港湾整備に関連する企業の投資動向調査	九州地方整備局
46	水前寺江津湖公園費用対効果分析業務委託	熊本市
47	平成 30 年度ウォーターフロント地区再整備に伴う効果等に関する更新業務	福岡市
48	宮崎市及び福岡市を起点とする時間地図印刷データ作成業務	宮崎県
(雇用・人材育成等)		
49	平成 30 年度生涯現役促進地域連携事業 食料品製造業事業所ヒアリング支援及び企業ニーズの把握・分析業務	(公社)福岡県雇用対策協会
50	卒業生アンケートに係る集計分析業務	下関市立大学
51	「少子高齢化・雇用委員会」運営支援業務	(一社)九州経済連合会
52	公的職業訓練に関するサービスガイドライン設計業務	職業訓練法人福岡地区職業訓練協会
(行財政)		
53	第 2 次下関市総合計画後期基本計画策定・編纂支援業務	下関市
54	久留米市新総合計画次期基本計画策定支援業務	久留米市
55	第 6 次田川市総合計画基本構想策定業務委託	田川市
56	第 2 次唐津市総合計画後期基本計画素案作成業務	唐津市
57	第 6 次荒尾市総合計画(仮称)策定支援業務	荒尾市
58	平成 30 年度県政世論調査業務	山口県
59	子育て等に関する県民意識調査	福岡県
(その他)		
60	2020 を契機としたスポーツ×地域産業等による地域・経済活性化モデル構築支援事業に関する役務請負	九州経済産業局
61	平成 30 年度政策金融評価の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
62	平成 30 年度 2020 年以降における九州の持続可能な成長に向けた調査事業	九州経済産業局

(3) 九経調地域研究助成・顕彰事業

九経調地域研究助成・顕彰事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、平成 26 年度から溝江建設㈱の支援を受けて実施している。

助成事業については、平成 30 年 4 月 13 日～5 月 31 日の応募期間に 27 本の申請があり、九経調地域研究助成・顕彰委員会で 6 本の助成先候補を選定し、理事会にて正式に助成先を決定した。顕彰事業については、九経調地域研究助成・顕彰委員会で審査し、最優秀賞(みぞえ賞)、優秀賞(溝江建設

賞)、奨励賞を選定、理事会にて正式決定した。さらに、平成31年3月11日の研究発表会において、表彰とみぞえ賞受賞者による発表を行った。

■助成先の審査結果 (20万円助成/本)

	テーマ	申請者・研究代表者
1	自治体運行の地域公共交通に関するオープンデータ化とその効果に関する研究	■■■■■ (九州産業大学理工学部)
2	人口減少・超高齢社会における都市機能の連携・分担に関する研究～「ひとつの九州」と「ひとつひとつの九州」の両立に向けて～	■■■■■ (慶應義塾大学 SFC 研究所)
3	これからの地方の図書館の可能性	■■■■■ (宮崎県立日向高等学校)
4	過疎地域における賃貸住宅の移住促進と地域社会への影響についての研究—八女市上陽町久木原地区の新築賃貸集合住宅の事例を中心として—	■■■■■ (八女里山賃貸(株)/株DMX)
5	中山間被災地域における生業継続のための交流空間デザイン	■■■■■ (九州大学大学院芸術工学府)
6	くるめ野菜の普及を通じた地域農業の振興と食文化の担い手育成	■■■■■ (久留米大学経済学部)

■顕彰先の審査結果

顕彰内容	テーマ	申請代表者	備考
【最優秀賞】 (みぞえ賞) 副賞:30万円	過疎地域における賃貸住宅が移住促進と地域社会に与える影響に関する研究—八女市上陽町久木原地区の賃貸集合住宅の事例を中心として—	八女里山賃貸(株) ■■■■■ (共同執筆:■■■■■・■■■■■)	20万円 研究助成
【優秀賞】 (溝江建設賞) 副賞:10万円	該当なし		
【奨励賞】 副賞:記念品	新しい時代を迎える高等学校図書館の可能性	宮崎県立日向高等学校 学校司書エリアコーディネーター ■■■■■	20万円 研究助成
	くるめ野菜の普及を通じた地域農業の振興と食文化の担い手育成	久留米大学経済学部 准教授 ■■■■■	20万円 研究助成

■九経調地域研究助成・顕彰委員会 委員

	氏名(敬称略)	所属	役職	備考
1	川崎隆生	(株)西日本新聞社	会長	民間
2	安浦寛人	九州大学	副学長	大学
3	山岐真作	(株)日本政策投資銀行 九州支店	九州支店長	民間
4	松田美幸	福津市	副市長	公共
5	高木直人	(公財)九州経済調査協会	理事長	主催者

■九経調地域研究助成・顕彰事業スケジュール

期間	内容
4月13日(金)～5月31日(木)	平成30年度 研究テーマの募集
6月18日(月)	平成30年度 第1回 九経調地域研究助成・顕彰委員会開催 助成先を選定(書面理事会で決定)(平成31年1月31日 論文提出締切り)
7月6日(金)～1月31日(木)	論文の一般募集
2月22日(金)	平成30年度 第2回 九経調地域研究助成・顕彰委員会開催

	最優秀賞（みぞえ賞）、奨励賞を選定（3月4日 理事会で決定）
3月11日（月）	研究発表会を開催。顕彰論文を表彰、みぞえ賞受賞者による発表（於：電気ビル共創館 カンファレンスA）来場者100人

3. 講演会・セミナーの開催

九経調では、研究成果を広く伝えるために、定例の講演会やセミナーを各地で開催している。また、BIZCOLIでは、多様なテーマで定期的にセミナーを開催している。平成30年度の九経調主催による講演会・セミナーは、合計74回であった。

（1）九州・沖縄・山口でのセミナー等

九州経済白書説明会（計12回）

九州経済白書「スポーツの成長産業化と九州経済」の刊行後、九州・沖縄・山口の12都市で開催した。

地区	日時	会場	共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡	2月8日 （金）	FFGホール（福岡銀行本店地下）	(株)ふくおかフィナンシャルグループ 福岡商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	■■■■次長	178人
北九州	2月20日 （水）	FFG北九州本社ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ （一社）西日本工業倶楽部 北九州商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	■■■■部長	60人
久留米	3月7日 （木）	筑邦銀行本店	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	■■■■部長	64人
佐賀	2月15日 （金）	佐賀銀行本店	(株)佐賀銀行	■■■■部長	30人
長崎	2月21日 （木）	十八銀行本店	(株)十八銀行 (株)長崎経済研究所	■■■■次長	39人
佐世保	3月6日 （水）	FFG佐世保ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)親和銀行 佐世保商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	■■■■次長	14人
熊本	3月5日 （火）	肥後銀行熊本駅前支店	(株)肥後銀行 （公財）地方経済総合研究所 熊本経済同友会	■■■■部長	45人
大分	3月8日 （金）	大分銀行 宗麟館	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	■■■■次長	63人
宮崎	2月22日 （金）	ニューウェルシティ宮崎	(株)宮崎銀行 （一財）みやざん経済研究所	■■■■次長	59人
鹿児島	2月26日 （火）	鹿児島中央ビルディング	(株)鹿児島銀行 (株)九州経済研究所	■■■■部長	62人
沖縄	2月19日 （火）	沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	■■■■次長	33人
山口	2月26日 （火）	シーモールパレス	(株)山口銀行 （一財）山口経済研究所	■■■■次長	46人

(2) 定例の講演会・セミナー

①九経調交流会（1回）

平成30年度は「公益資本主義 2050年の国家目標 天寿を全うする直前まで健康でいられる社会の実現」をテーマに、アライアンス・フォーラム財団代表理事の原丈人氏を講師にお招きして講演会を開催したのち、懇親会で会員同士の交流を深めた。

日程	テーマ	講師	参加者数
2月7日 (木)	公益資本主義 2050年の国家目標 天寿を全うする直前まで健康でいられる社会の実現	アライアンス・フォーラム財団代表理事、 デフタパートナーズグループ会長、内閣 府本府参与 ■■■氏	219人

②研究報告会（1回）

平成30年度は、前年度の幹事会提案の自主研究に基づいて「ITS（高度道路交通システム）が拓く地域経済活性化」をテーマに研究報告会を開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
7月18日 (水)	ITSが拓く地域経済活性化	■■■主任研究員	75人

③アジア経済講演会（1回）

昭和37年以来、アジア経済研究所との共催で毎年開催している。平成30年度は、中国華南・珠江デルタ地域をテーマに開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
10月30日 (火)	発展する中国華南・珠江デルタ～ビッグベイ エリア構想と日系企業の勝算	ジェトロ・アジア経済研究所 開発研究 センター 企業・産業研究グループ研究員 ■■■氏 （株）安川電機 執行役員 中国統括 安川電 機(中国)有限公司 董事長 ■■■氏	57人

備考) ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、九経調の三者共催

④調査技法セミナー（2日間開催。1回）

九州・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。平成30年度は、GIS（地理情報システム）、BI（ビジネス・インテリジェンス）ツールを活用した、地図データやビッグデータの可視化・分析に関する実践的なプログラムを組み、合計25名で実施した。

日程	内容	講師	参加者数
7月25日 (水)	QGIS 入門演習	■■■研究主査	23人
7月26日 (木)	Tableau 入門	（株）カホエンタープライズ 最高技術責任者 ■■■ 氏、マネージャー ■■■氏	19人

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

参加機関

㈱FFG ビジネスコンサルティング	㈱長崎経済研究所	㈱九州経済研究所
㈱NCB リサーチ&コンサルティング	(一財)山口経済研究所	㈱北九州経済研究所
㈱大銀経済経営研究所	(一財)みやぎん経済研究所	㈱ちくぎん地域経済研究所
(公財)九州経済調査協会		

⑤経済講演会（1回）

三井住友アセットマネジメント㈱理事・チーフエコノミストの宅森昭吉氏を招いて、「街角から日本の景気を展望する」をテーマに、㈱ふくおかフィナンシャルグループとの共催にて開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
10月16日 (火)	街角から日本の景気を展望する	三井住友アセットマネジメント㈱ 理事・チーフエコノミスト 宅森昭吉氏	106人

⑥地域研究顕彰事業研究発表会（1回）

前出の九経調地域研究顕彰事業において選ばれた優秀な論文を顕彰し、顕彰された論文についてプレゼンテーションを行う研究発表会を開催した。

日程会場	発表者	参加者数
3月11日 (月) 電気ビル 共創館	<p>【論文提出者】</p> <p>①「自治体運行の地域公共交通に関するオープンデータ化とその効果に関する研究」 ██████████ (九州産業大学理工学部)</p> <p>②「人口減少・超高齢社会における都市機能の連携・分担に関する研究～「ひとつの九州」と「ひとつひとつの九州」の両立に向けて～」 ██████████ (慶應義塾大学 SFC 研究所)</p> <p>③「新しい時代を迎える高等学校図書館の可能性」 ██████████ (宮崎県立日向高等学校)</p> <p>④「過疎地域における賃貸住宅が移住促進と地域社会に与える影響に関する研究－八女市上陽町久木原地区の賃貸集合住宅の事例を中心として－」 ██████████ (八女里山賃貸㈱/㈱DMX)</p> <p>⑤「中山間被災地域における生業継続のための交流空間デザイン－熊本地震後の南阿蘇村を対象として－」 ██████████ (九州大学大学院芸術工学府)</p> <p>⑥「くるめ野菜の普及を通じた地域農業の振興と食文化の担い手育成」 ██████████ (久留米大学経済学部)</p> <p>【前年度最優秀賞受賞者】</p> <p>①「災害派遣時における保育支援」 ██████████ (航空自衛隊築城基地)</p>	100人

(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント

BIZCOLI では、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催しており、平成 30 年度は合計 56 回であった。セミナー終了後には、交流ラウンジで名刺交換会を開催し、参加者相互の人脈形成の場を提供している。

①イブニングセミナー（計 11 回）

当会研究員や当会月報への寄稿者によるセミナーを不定期に開催している。年間を通じて、インバウンドや農業成長産業化、Society5.0、海洋エネルギー、シリコンアイランド、スマート農業、スマートモビリティサービスなどといった九州の成長戦略に係るセミナーを開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
6月1日(金)	ニュータウン地域における高齢化の現状	■■■■ 研究員	40人
7月17日(火)	インバウンド1,000万人時代に向けた九州戦略	■■■■ 主任研究員、■■■■ 研究主査	41人
8月21日(火)	一次産業の成長産業化に向けたブランド化戦略	■■■■ 主任研究員、■■■■ 調査役	23人
9月11日(火)	九州の Society 5.0 企業	■■■■ 主任研究員、■■■■ 研究員	28人
9月28日(金)	中国の資源ごみ輸入規制の動向と九州への影響 ～世界を漂う廃棄物の行方～	■■■■ 研究員	22人
10月9日(火)	九州の多様性を生かした海洋エネルギー開発	■■■■ 主任研究員、■■■■ 研究主査	13人
11月13日(火)	シリコンアイランド九州の新しい地平	■■■■ 部長、■■■■ 主任研究員	32人
12月11日(火)	「新しい福祉」の萌芽	西部ガス絆結(株) 代表取締役社長 ■■■■ 郎氏 (株)ふくしごと コミュニケーショ ンディレクター ■■■■ 氏 ラボラトリオ(株) 統括マネージャー ■■■■ 氏 ■■■■ 主任研究員	26人
1月8日(火)	九州の新たな1年	■■■■ 主任研究員、■■■■ 研究主査	26人
2月13日(水)	九州におけるスマート農業の未来 東京・大阪 在住者の九州観光に関するイメージアンケート	■■■■ 主任研究員	9人
3月12日(火)	スマートモビリティサービス	■■■■ 主任研究員	27人

②地域経営セミナー（計16回）

地域活性化や企業競争力強化をテーマに開催しており、上期は「地域創生のプレミアム戦略」や「九州バカ 世界とつながる地元創生起業論」といった書籍の著者を招聘し開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5月16日 (水)	生産性を高める職場の基礎代謝	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 代表理事 ■■■■ 氏	18人
7月10日 (火)	地域創生のプレミアム戦略 ～稼ぐ力で上質なマーケットをつくり出す～	中央大学大学院経済学研究科 教授 ■■■■ 氏	32人
8月10日 (金)	世界とつながる地元創生起業論	有限会社一平 代表取締役 ■■■■ 氏	54人
8月23日 (木)	2030SDGs カードゲームによる組織活性化 &リーダー人材育成ワークショップ	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 代 表理事 ■■■■ 氏	35人
8月30日 (木)	デジタルフォレンジックに触れる	EY 新日本有限監査法人 Forensics 事業部 Technology チームジャパンリーダー ■■■■ 氏、同部 マネージャー ■■■■ 氏	11人
9月19日 (水)	サイバー攻撃の現状と求められる施策 第1回サイバー攻撃の現状	EY 新日本有限監査法人 Forensics 事業部 Technology チームジャパンリーダー ■■■■ 氏、同部 ■■■■ 氏	20人
10月10日 (水)	サイバー攻撃の現状と求められる施策 第2回サイバー攻撃への対策	EY 新日本有限監査法人 Forensics 事業部 Technology チームジャパンリーダー ■■■■ 氏、同部 マネージャー ■■■■ 氏	17人
10月16日 (火)	レゴ(R)ブロックで描く組織と地域の未 来デザイン	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 理事 ■■■■ 氏	15人
10月31日 (水)	サイバー攻撃の現状と求められる施策 第3回サイバー攻撃への対策	EY 新日本有限監査法人 Forensics 事業部 Technology チームジャパンリーダー ■■■■ 氏、同部 マネージャー ■■■■ 氏	9人
12月14日 (金)	PR も同時にできる！Makuake クラウド ファンディングセミナー	(株)マクアケ 取締役 ■■■■ 氏	27人

1月17日 (木)	第1回 未来会計セミナー 『未来からの逆算』が会社を大きく変える！	(株)日本BIGネットワーク 代表取締役 IG 会計グループ 代表、日本 M&A 協会 会長 ■■■氏	19人
1月17日 (木)	続編！「職場の基礎代謝」アップ 社員・顧客・会社を元気にする「不」の解消法	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 理事 ■■■氏	27人
2月1日 (金)	わかりやすい！中国越境 EC セミナー	(株)ナセバナル 代表取締役 ■■■氏	18人
2月13日 (水)	第2回 未来会計セミナー 『経営者目線の“決算書”の見方、活かし方』	(株)IG プレーン 未来会計コンサル ■■■氏	12人
3月5日 (火)	2030SDGs カードゲームを活用した理想の組織・地域づくりワークショップ	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 理事 ■■■氏	24人
3月26日 (火)	第3回未来会計セミナー 『自社の資金繰りは 銀行でも会計事務所でもない 経営者が一番解る』	(株)IG プレーン 未来会計コンサル ■■■氏	19人

③共催セミナー（計7回）

会員との共催によるセミナーに取り組んでおり、平成30年度は九州朝日放送(株)、(株)電通九州、福津市、九州産業大学産業経営研究所、専門図書館協議会、若林ビジネスサポートと実施した。

日程	テーマ	講師	共催機関	参加者数
5月23日 (水)	ナイトタイムエコノミーの創出～デジタルクリエイティブによるソリューション～	チームラボ ■■■氏 (株)ホリーアイランドセールス 代表取締役 ■■■氏	(株)電通九州、若林ビジネスサポート	69人
5月31日 (木)	インバウンドの新たなステージをむかえて 第一部：「山奥の小さな旅館が外国人で満室になる理由」 第二部：「タイ人を九州に誘致する方法」	湯平温泉「山城屋」代表 ■■■氏、俳優 ■■■氏	九州朝日放送(株)	95人
9月4日 (火)	温泉旅館の生き残りをかけた長期滞在戦略～別府市鉄輪温泉の取り組み～	九州産業大学地域共創学部 観光学科 教授 ■■■氏	九州産業大学	35人
10月9日 (火)	地方創生に必要なモノ・コト・シテン	(株)電通 日本開発室インバウンドソリューション開発部長 ■■■氏	(株)電通九州、若林ビジネスサポート	107人
11月21日 (水)	福津市の住み良さは「住み良さランキング2018 総合評価」九州・沖縄ブロック1位	福津市長 ■■■氏	福津市	48人
2月15日 (金)	アニメ聖地巡礼 これからの観光地づくり～九州の知られざるポテンシャルに迫る～	関東学院大学経営学部 教授 ■■■氏 中京大学経営学部 准教授 ■■■氏 九州産業大学 地域共創学部 准教授 ■■■氏	九州産業大学	39人
3月22日 (金)	九州大学中央図書館視察会「九州大学中央図書館のコンセプト～開館までの軌跡とともに」	九州大学附属図書館 図書館企画課 企画係長 ■■■氏	専門図書館協議会	14人

④九州国立博物館応援セミナー（計3回）

九州国立博物館の企画展にあわせて、3回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5月29日 (火)	至上の印象派展～ビュールレ・コレクション	九州国立博物館 特任研究員 ■■■■■氏	35人
10月23日 (火)	オークラコレクション～古今の美を収集した大倉父子の夢	九州国立博物館 主任研究員 ■■■■■氏	25人
2月18日 (月)	京都・醍醐寺～真言密教の宇宙	九州国立博物館 主任研究員 ■■■■■氏	21人

⑤サイエンスカフェ（計11回）

サイエンスカフェは、九州大学が企画し当会が主催して行う科学者による市民向け勉強会である。大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題提供しており、2015年にノーベル物理学賞を受賞した梶田先生の特別講演も含め、計11回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月6日 (金)	「動き」と「計算」の関係に迫る！	九州大学大学院システム情報科学研究院 情報学部門准教授 ■■■■■氏	36人
4月15日 (日)	特別版「宇宙の謎に迫る！」	東京大学卓越教授・特別荣誉教授、東京大学宇宙線研究所長 ■■■■■氏	221人
5月25日 (金)	磁性ゴムの謎に迫る！	九州大学大学院工学研究院 機械工学部門 准教授 ■■■■■氏	36人
6月22日 (金)	CGの謎に迫る！	九州大学大学院芸術工学研究院 助教 ■■■■■氏	31人
8月3日 (金)	同期現象の謎に数学で迫る！	九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 准教授 ■■■■■氏	36人
9月21日 (金)	水素細菌の謎に迫る！	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 准教授 ■■■■■氏	39人
10月19日 (金)	ロボットの身体・知能に迫る！	九州大学大学院工学研究院機械工学部門 准教授 ■■■■■氏	40人
11月16日 (金)	日本酒の香りを科学する！	九州大学大学院理学研究院科学部門 准教授 ■■■■■氏	43人
12月14日 (金)	次元の謎に迫る！	九州大学基幹教育院自然科学理論系部門 准教授 ■■■■■氏	51人
1月25日 (金)	身体の中にお医者さんを送り込む！	九州大学大学院工学研究院応用化学部門 准教授 ■■■■■氏	33人
3月2日 (土)	身体も心！	九州大学基幹教育院人文社会化学部門 准教授 ■■■■■氏	34人

⑥ビズコリクラブ（計2回）

ビズコリクラブは、教養を深める少人数セミナーである。平成30年は明治維新150年の節目の年であり、幕末維新をテーマに講師を招聘した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
10月19日 (金)	幕末と維新の薩摩 ー明治維新と薩摩藩、島津家ー	㈱島津興業 代表取締役社長 ■■■■■氏	11人
2月12日 (火)	幕末の長州と筑前が果たした役割	萩博物館特別学芸員／防府天満宮歴史館顧問／至誠館大学特任教授 ■■■■■氏	10人

⑦文化アートイベント（計3回）

文化セミナーは6月に「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2018」との連動企画で、アートと地域づくりに関するテーマで開催。12月には、「現代アートを買おう！サラリーマンコレクターの経済学」をテーマにART FAIR ASIA 実行委員会と共催で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
6月29日 (金)	ART FAIR ASIA FUKUOKA 2018 プレイベント「秘密企業×アート」	TERRADA ART ASSIST(株) 代表取締役 〇〇〇氏	46人
11月12日 (月)	特別講演会「社会とデザイン」Design for Society	九州大学大学院芸術工学研究院 コンテンツ・クリエイティブデザイン部門 教授 〇〇〇氏 Rocket Road(株) 代表取締役社長 泉幸典氏	18人
12月14日 (金)	現代アートを買おう！サラリーマンコレクターの経済学	アート・コレクター、横浜美術大学教授 京都造形芸術大学客員教授 〇〇〇氏	71人

⑧まちづくりセミナー（計2回）

まちづくりに関するテーマで開催しており、平成30年度は「稼ぐ」と「離島」で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
6月26日 (火)	かせぐまちづくり	フィールド・フロー(株)代表取締役 〇〇〇氏	39人
9月13日 (木)	日本の離島は最先端！	NPO 法人離島経済新聞社 統括編集長 〇〇〇氏	35人

⑨ビッグデータセミナー（計1回）

会員企業におけるAIやビッグデータの活用を促進するため、情報提供のためのセミナーを開催した。先進的な活用事例や、データストアとしてのクラウド基盤、BIツールなどを用いた可視化・活用技術など実践的な内容を想定しており、平成30年度はBIツールをテーマに開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
3月6日 (水)	経営に活かすデータ分析セミナー 第1回「BIツールによる経営革新」	(株)カホエンタープライズ コンサルタント 〇〇〇氏	17人

4. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLIは、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用する人が集まる空間づくりに努めている。知の集積拠点としては、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。知の交流拠点としては、セミナーやイベントを開催して、人が集まり、知的刺激を受ける場を提供している。知の創造拠点としては、企業との共同展示を通じて、アイデアの創出や発想の転換を促進している。

また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供しており、企画書作成や自己研鑽の空間として活用されている。

(1) 地域経済図書館としてのサービス

1) BIZCOLI の利用状況

平成 30 年度の利用者数は 18,461 人となった。平成 29 年度に開館以来はじめて対前年を下回ったものの、平成 30 年度はサービス向上や広報活動に力を入れたことから、再度増加に転じており、前年度を大きく上回った (10%増)。また、3 月 13 日には、累計の来館者数が 10 万人に到達した。

BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	年 度	利用者数
平成 24 年度	8,044 人	平成 28 年度	16,984 人
平成 25 年度	12,238 人	平成 29 年度	16,743 人
平成 26 年度	13,479 人	平成 30 年度	18,461 人
平成 27 年度	15,486 人		

2) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、企業の新製品や話題のグッズを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。平成 30 年度は、26 件の行政や企業、団体等と連携して、常設展示、企画展示を行った。

①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光推進機構	写真、資料の提供
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
DRATION	ドローンの提供
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	「九州の未来力」関係資料
福岡市	県作成のパンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など

②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
㈱電通九州	電通九州のクリエイターによる“感じる”“考える”“伝える”をテーマとした書籍と書評を展示
㈱西日本新聞社	パネル「2027 首都・福岡」の展示
㈱野村総合研究所	パネル「未来年表 2017-2100」の展示
福岡商工会議所	パネル「二十年後ノ大福岡構想圏」の展示

(2) 講演会・セミナー会場の運営

BIZCOLI のミーティングルームの提供を行っている。平成 30 年度は、240 件の利用があり、収益額は対前年度比プラス 3%の 219 万円だった。

5. 経済団体等支援事業

(1) 福岡経済同友会からの事務局受託

会員数 514名 (3月末現在)

平成30年度の主な活動 (福岡経済同友会／九州経済同友会)

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・通常総会 (1回)、常任幹事会 (3回)、幹事会 (4回) の開催 ・同友フォーラム ・交流委員会。例会10回開催 ・国際委員会。ドイツ、チェコへの海外視察 ・県立高等学校、市立中学校にて出前講座 16回開催 ・九州メンタープロジェクトメンティー発表会の開催 ・カップリングパーティーの開催 ・その他、各委員会において講演会、視察会等を開催 など
九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・代表幹事会 (2回。企画委員会合同会議を含む) ・企画委員会 (4回。企画委員会合同会議を含む) ・九州経済同友会大会 (1回) ・会員合同懇談会 (1回) ・九州はひとつ委員会 (1回) ・提言「九州における人口減少・少子化対策のあり方」発表 ・九州地域戦略会議、同幹事会に参加 ・九州合同プロモーション in France ・全国経済同友会セミナー ・西日本経済同友会 代表者会議に参加 など

*その他講演会、会合など開催 上記を含む総会合数 154回(うち共催・後援 31回)

(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州経済を考える懇談会は、九州の経済団体のトップが九州経済に関する重要課題について、認識を共有し、課題解決策について議論する会議体である。平成 22 年度に「地域経営を考える政策懇談会」として始まり、平成 25 年 1 月から現在の名称に変更した。(一社)九州経済連合会、(一財)九州地

域産業活性化センター、(公財)九州経済調査協会の三者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネーターを務めている。平成30年度は4回開催した。

No	日時・場所	テーマ	参加者
第1回	8月22日 (水) 九経調 会議室	1) 第一次産業の魅力づくりについて 2) 「祭りアイランド九州」の取組について 3) フランスでの九州PR活動実施結果と今後の課題について 4) 女性活躍推進に関する取組について 5) 「九州・大学発ベンチャー振興実践会議」実施結果と今後の対応について	(一社)九州経済連合会 会長 ■■■氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 ■■■氏 九州商工会議所連合会 会長 ■■■氏 九州経済同友会 代表幹事 ■■■氏 九州経営者協会 会長 ■■■氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 ■■■ (コーディネーター)
第2回	10月4日 (木) 九経連 会議室	1) 「事業承継対策」について 2) 「祭りアイランド九州」の取組について	(一社)九州経済連合会 会長 ■■■氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 ■■■氏 九州商工会議所連合会 会長 ■■■氏 九州経済同友会 代表幹事 ■■■氏 九州経営者協会 会長 ■■■氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 ■■■ (コーディネーター)
第3回	1月30日 (水) 九経調 会議室	1) 「日本・九州経済停滞の原因と実態および日本における貧困下の実態と対策」について 2) 「労働力不足と人材育成」について 3) 「祭りアイランド九州」経済界内の負担金(案)について 4) 次年度懇談会の進め方について	(一社)九州経済連合会 会長 ■■■氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 ■■■氏 九州商工会議所連合会 会長 ■■■氏 九州経済同友会 代表幹事 ■■■氏 九州経営者協会 会長 ■■■氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 ■■■ (コーディネーター)
第4回	3月8日 (金) 九経調 会議室	1) 「九州オープンイノベーションセンター構想」について 2) 九州におけるリカレント教育(学び直し)の現状について 3) 次年度懇談会の進め方について 4) 「九州・大学発ベンチャー振興実践会議」実施結果について	(一社)九州経済連合会 会長 ■■■氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 ■■■氏 九州商工会議所連合会 会長 ■■■氏 九州経済同友会 代表幹事 ■■■氏 九州経営者協会 会長 ■■■氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 ■■■ (コーディネーター)

(3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局

「地域政策デザイナー養成講座」(事務局長: ■■■九州大学 ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター長、学術研究・産学官連携本部教授)は、地域の具体的な課題を把握し、国内外の情勢や近未来をとらえた広い視野で、地域像をデザイン、政策立案できる人材を「官」「民」を問わず育て、九州地域の発展に貢献することを目的に、平成22年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(株)西日本新聞社、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

平成30年度は72名(受講生37名、聴講生35名)が受講した。4月から11月までに15回の授業を実施し、11月17日には研究発表会を開催した。

平成 30 年度 地域政策デザイナー養成講座 講師一覧

氏 名	所 属
	九州大学 理事・副学長
	九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
	(公財)九州経済調査協会 事業開発部長兼 BIZCOLI 館長
	福岡地域戦略推進協議会 事務局長/九州大学 客員准教授
	内閣府規制改革推進室 参事官
	NewsPicks 編集長
	(株)トビムシ 代表取締役
	金融庁総務企画局 参事官
	(一社) マザー・アーキテクチャ 代表理事・建築家
	(有) 一平 代表取締役
	九州大学 システム情報科学研究院 准教授
	九州大学 芸術工学研究院教授
	ポート(株) 代表取締役 CEO
	別府市長

(4) 九州水フォーラム 2018 の事務局のサポート

九州水フォーラムは、「九州ならではの水のありかた」を、地域、全国、国際の多様な視野から捉えるものである。九州の水の文化や技術を発信し、日本や世界の水問題へ貢献することを目的としている。昨年度まで事務局は当会にあったが、平成 30 年度から九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室へ移っている。弊会は事務局の引継業務並びに運営のサポートを行い、5 回開催された幹事会に参加した。平成 30 年度の九州水フォーラムのテーマは「水の恵みの享受と災害からの復興)」で、電気ビル共創館カンファレンスにおいて、11 月に開催された。

日 程	テーマ	内 容	参加者数
11 月 19 日 (月)	「水の恵みの享受と災害からの復興)」	<p><基調講演>「気候変動と水」 講師： 国立環境研究地球環境センター 気候変動リスク評価研究室主任研究員 ■■■■■ 氏</p> <p><ポスターセッション> <パネルディスカッション> 「災害を乗り越えて生きて行く、地域社会と文化の力に支えられて」 パネリスト： 福岡管区気象台 気象防災部地球環境課・海洋課 地球温暖化情報官 ■■■■■ 氏 福岡県男女共同参画審議会 委員 前杷木町長 ■■■■■ 氏 国際連合人間移住計画 (ハビタット) 補佐官 ■■■■■ 氏 九州大学 大学院教授 工学研究院附属アジア防災研究センター長 九州大学 災害復興支援団団長 ■■■■■ 氏</p> <p>モデレーター： アジア太平洋水フォーラム友の会 ■■■■■ 氏</p>	72 人

6. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を行っている。なお、外部主催の講演会への講師派遣、セミナー等への参加・企画協力については、巻末の資料編に掲載している。

対外活動実績（平成 30 年度）

区分	内容	件数等
(1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣	【行政】九州経済産業局、九州地方整備局、九州農政局、福岡県、長崎県、北九州市、福岡市、久留米市、行橋市 【団体】(公財)経営者顕彰財団、(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター、(公財)福岡アジア都市研究所、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団、(公財)機械振興協会、(公財)日本生産性本部、(一社)九州経済連合会、(一社)九州観光推進機構、(一財)九州産業技術センター 【民間・大学】九州電力㈱、福岡大学、㈱福岡放送	就任件数計 22 件
(2) 大学への非常勤講師の派遣	福岡大学、九州産業大学、中村学園大学、近畿大学、西南学院大学、流通科学大学 * 1 コマの派遣は含まず	計 6 大学 8 講座
(3) テレビ・ラジオ等への出演	RKB「今日感テレビ」、TNC「CUBE」、TNC「もちもち浜 S 特報ライブ」 NHK 福岡「ロクいち!福岡」、KBC「アサデス。」、KBC 九州朝日放送「シリタカ!」FBS 福岡放送「めんたい PLUS」、TVQ「ふくおかサテライト」、TVQ「ぐっ!ジョブ」、KTN テレビ長崎、MBC「NEWS NOW」、NHK 宮崎放送局、鹿児島読売テレビ「鹿児島 KYT ニュース」	延 29 回
(4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	西日本新聞、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、産経新聞、河北新報、東奥日報、沖縄タイムス、琉球新聞、建設通信新聞、中国新聞セレクト、鹿児島建設新聞、旬刊旅行新聞、日本経済新聞電子版ニュース、西日本新聞経済電子版「qBiz」、日刊工業新聞「News ウェーブ 21」、聯合ニュース、電子デバイス新聞、ビジネスレイバートレンド、@PRESS、週刊金融財政事情、財界九州、PRESIDENT Online、LINE ニュース等	延 184 件
(5) インターシップの受入等	沖縄人財クラスタ研究会（琉球大学、沖縄国際大学）、福岡大学	計 3 大学

7. 運営基盤の拡充

(1) 会員数の増加

① 賛助会員

BIZCOLI や研究成果の活用、講演会、講師派遣、研究員のネットワークなどを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めている。平成 30 年度入会は 38 件であり、前年の 42 件を若干下回った。しかしながら、退会は 26 件でとどまり、期首 581 会員から 12 会員純増して 593 会員となった。会費実勢額は 1 億 2,791 万円である。

賛助会員の動向

	合 計				
	維持会員	普通会員	個人会員	町村会員	
平成 30 年度期首	581	73	491	15	2
入 会	38	1	34	3	0
退 会	26	0	26	0	0
増 減	12	1	8	3	0
会員種別変更	0	0	0	0	0
平成 30 年度末	593	74	499	18	2

- ・平成 27 年度末 会員数 576 会員 ・会費実勢額 1 億 2,648 万円
- ・平成 28 年度末 会員数 574 会員 ・会費実勢額 1 億 2,574 万円
- ・平成 29 年度末 会員数 581 会員 ・会費実勢額 1 億 2,625 万円
- ・平成 30 年度末 会員数 593 会員 ・会費実勢額 1 億 2,791 万円

②BIZCOLI 会員

平成 30 年度は、期首 102 会員から 3 会員純減して 99 会員となった。会費実勢額（月会費×12 ヶ月）は、721.2 万円となった。

BIZCOLI 会員の内訳（99 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	6	フルタイム+土曜日	5
デイトタイム	11	デイトタイム+土曜日	2
ナイトタイム	48	ナイトタイム+土曜日	11
土曜日	16	合 計	99

（2）理事会、評議員会、幹事会、企画委員会の開催

公益財団法人に移行して 6 年目を迎え、理事会、評議員会の決議の下、適正な組織運営を行っている。また、幹事会や企画委員会を定例化して、公益財団としての組織力を強化している。平成 30 年度は理事会を 5 回、評議員会を 4 回開催した他、幹事会を 2 回、企画委員会を 1 回開催した。幹事会提案による自主研究の報告会として「ITS が拓く地域経済活性化」をテーマに開催した。

①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議 案 等
5 月 21 日 (月)	第 26 回理事会	【決議事項】 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 平成 29 年度決算（案）について 第 3 号議案 幹事の選任について 第 4 号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第 1 項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第 2 項 その他
7 月 5 日 (木)	第 27 回理事会 (書面)	【決議事項】 第 1 号議案 幹事の選任について

		第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 助成先の決定について
8月17日 (金)	第28回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 幹事の選任について 第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 評議員会(書面表決)の招集について
10月22日 (月)	第29回理事会	【決議事項】 第1号議案 平成30年度更正予算(案)について 第2号議案 顧問、参与の委嘱について 第3号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 平成30年度上期事業報告について 第2項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第3項 幹事会の開催について 第4項 企画委員会の開催について 第5項 その他
3月4日 (月)	第30回理事会	【決議事項】 第1号議案 平成31年度事業計画(案)について 第2号議案 平成31年度予算(案)について 第3号議案 内閣府への定期提出書類について 第4号議案 幹事の選任について 第5号議案 顧問、参与の委嘱について 第6号議案 評議員会の招集について 第7号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品の選定について 【報告事項】 第1項 創立70周年記念事業の進捗について 第2項 その他

②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議案等
6月13日 (水)	第18回評議員会	【決議事項】 第1号議案 平成29年度事業報告(案)について 第2号議案 平成29年度決算(案)について 第3号議案 評議員の選任について 【報告事項】 第1項 その他
8月31日 (金)	第19回評議員会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 評議員の選任の件
11月16日 (金)	第20回評議員会	【報告事項】 第1項 平成30年度上期事業報告について 第2項 平成30年度更正予算について 第3項 顧問、参与の委嘱について 第4項 幹事会の開催について 第5項 企画委員会の開催について 第6項 その他
3月15日 (金)	第21回評議員会	【決議事項】 第1号議案 評議員の選任について 【報告事項】 第1項 平成31年度事業計画について 第2項 平成31年度予算について 第3項 幹事の選任について

		第4項 顧問、参与の委嘱について 第5項 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品について 第6項 その他
--	--	--

③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議案等
6月15日 (金)	第8回幹事会 (書面)	議案I 幹事会議長の選任について
2月28日 (木)	第9回幹事会	1 新幹事の紹介 2 平成30年度幹事会からの提案による自主研究の中間報告 3 平成31年度幹事会からの提案による自主研究のテーマ選定 4 創立70周年記念事業の進捗報告

④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議案等
12月6日 (木)	企画委員会	1 平成30年度自主研究の中間報告 2 平成31年度自主研究テーマ(案)について 3 創立70周年記念事業の進捗報告 4 その他

(3) 人材育成の強化

当会では、研究員の資質向上に取り組み、専門分野に偏らない、新しい分野への知見の蓄積を進めている。また、国内・海外を問わず外部との交流を積極的に行うことで、各研究員がネットワークを広げることが重視されている。

平成30年度は、前年度に続いて新卒社員を採用したことから、若手研究員の育成に力を入れている。前年度から引き続いて、研究員3年目研修として(株)日本経済研究所主催の地域シンクタンク研修等への参加、及び新人研究員を対象に九州大学政策デザイナー養成講座聴講を通じたグループワークの心得などの能力向上を図ったほか、新たな分析技術・知識の共有化を促すため、新人研究員自らが講師となって研究員に必要な情報技術を活用した分析ツールの紹介等を行う講習を開催した。

資料

1. 外部主催の講演会への講師派遣（計 57 件）

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。その手段の一つとして、会員をはじめとする外部からの依頼に応え、当会から講師を派遣した。

【講師派遣一覧】

日程	依頼先	会合名・タイトル	講演者	参加者数
4月10日 (火)	福岡県経営者協会	スマホ時代の新しい消費と流通	■次長	20人
4月13日 (金)	三菱電機㈱九州支社	九州支社 経営方針説明会「九州経済の短・中期見通しについて」	■研究主査	60人
4月16日 (月)	九州電力㈱東京支社	九州経済講演会「スマホ時代の新しい消費と流通」	■次長	50人
4月16日 (月)	㈱西日本新聞社	西日本新聞 新聞広告基礎講座【2】九州経済情報の収集と編集からみた「新聞」	■主任研究員	50人
4月17日 (火)	福岡銀行協会	福岡銀行協会情報交換会「スマホ時代の新しい消費と流通」	■次長	20人
4月17日 (火)	㈱サワライズ	社内研修会「2018年度の九州経済の見通し」	■研究主査	20人
4月20日 (金)	日本証券アナリスト協会	スマホ時代の新しい消費と流通	■次長	15人
5月19日 (土)	福岡県土木長友会	福岡県土木長友会講演会「道を生かす」	■次長	90人
5月19日 (土)	日本経営診断学会九州支部	スマホ時代の新しい消費と流通	■次長	20人
5月23日 (水)	柳川商工会議所	柳川・大川商工会議所合同研修「スマホ時代の新しい消費と流通」	■次長	75人
5月24日 (木)	佐賀県	佐賀県産業人材確保プロジェクト推進会議総会	■次長	20人
6月5日 (火)	熊本県	熊本県内中山間地域における農業集落等実態調査 報告会	■主任研究員	40人
6月14日 (木)	(一財)九州産業技術センター	九州・台湾環境エネルギービジネス交流会～太陽光発電 O&M 市場の展望～	■次長	80人
6月19日 (火)	(一社)九州経済連合会	全国経済人連合会（韓国）「Japan Insight Trip 2018」	■研究主査	12人
6月29日 (金)	九州産業大学	九州産業大学講演会	■部長	25人
7月14日 (土)	九州女子大学	図書館司書希望者への BIZCOLI 案内	■部長	27人
7月26日 (木)	福岡不動産鑑定士懇話会	ニュータウン地域における高齢化の現状	■研究員	13人
7月27日 (金)	(一社)太陽光発電アフターメンテナンス協会	太陽光発電アフターメンテナンス協会 太陽光発電 O&M セミナー 「太陽光発電の 3R 事業化促進事業の取組み」	■次長	35人
8月17日 (金)	㈱福岡リアルティ/福岡地所 ㈱/㈱エフ・ジェイ ホテルズ	中期的な福岡都市圏の成長の可能性	■部長	40人
8月23日 (木)	九州環境エネルギー産業推進機構	第117回エコ塾 in 宮崎基調講演「九州の太陽光発電の O&M の実態と九州からの挑戦」	■次長	47人

8月28日 (火)	久留米学術研究都市づくり推進協議会	久留米市経済の現状とその構造～久留米市産業 連関表より	■ 部長	40人
9月14日 (金)	NEXCO 西日本九州支社	平成30年度第2回九州支社CS推進本部会議「都 市再構築と地方創造のデザイン」	■ 次長	34人
9月14日 (金)	公益財団法人トヨタ財団(NPO 法人アカツキ)	トヨタ財団「国内助成プログラム」公募説明会 in 福岡 「市民活動団体等向け調査技法」	■ 研究員	45人
10月3日 (水)	佐賀市	講演会「未来の年表」～人口減少佐賀でこれから起 きること～ プログラム第1部「佐賀市の人口の見通し」	■ 主任研究員	384人
10月17日 (水)	百道会	百道会10月例会「人材枯渇時代を生き抜く地域戦 略」	■ 次長	50人
10月20日 (土)	大学行政管理学会(事務局:西 南学院大学)	大学行政管理学会 特別シンポジウム「大学におけ る将来構想をともに考える」	■ 次長	40人
10月23日 (火)	西日本新聞社	日本政策金融公庫10周年記念 地域活性化シン ポジウム 海外展開やインバウンド需要への対応について	■ 部長	205人
10月24日 (水)	九州地方整備局	地域活性化企画研修	■ 部長	25人
10月26日 (金)	熊本県・ポリテクセンター熊本	高齢者雇用促進セミナー「65歳超従業員の仕事 力化を考える 年齢にかかわらず企業で働く『しくみ』 づくり」	■ 次長	70人
11月2日 (金)	㈱三井住友銀行 熊本法人営 業部	取引先向け講演会	■ 研究主査	60人
11月9日 (金)	㈱九州総合設計	社内研修会「九州の社会経済構造／九州の最近の 景気動向」	■ 研究主査	24人
11月14日 (水)	九経局、福岡県、九州環境エ ネルギー産業推進機構、(一 社)太陽光発電アフターメン テナンス協会、九経調	太陽光発電所のO&Mと中古売買の関係	■ 次長	92人
11月15日 (木)	九州ビルディング協会	九州ビルディング協会11月例会「九州経済・産業の 動向～図説九州経済2019から」	■ 次長	51人
11月16日 (金)	玄友会	玄友会勉強会「成長都市・福岡の強み」	■ 研究主査	60人
11月21日 (水)	福岡城南ロータリークラブ	福岡城南ロータリークラブ例会「ロータリー財団グロ ーバル補助金奨学生としての留学ご報告」	■ 研究員	65人
11月22日 (木)	エア・ウォーター・マテリアル(株)	インテグリス製品 勉強会	■ 部長	20人
11月30日 (金)	九州運輸局	第63回九州運輸コロキウム「欧米豪からみた九州 の関心度」	■ 研究主査	200人
12月4日 (火)	㈱レイメイ藤井	レイメイ藤井会	■ 研究主査	42人
12月8日 (土)	あおもり新幹線研究連絡会	新幹線フォーラム「青函・北陸・九州 新幹線は地域 をどう変えるのか」	■ 次長	35人
12月11日 (火)	福岡県	太陽光発電事業の適性化に向けた取組に関するセ ミナー	■ 次長	118人
12月12日 (水)	九州財務局 宮崎財務事務所	第2回みやざき活性化フォーラム「中核企業と地域 産業の新陳代謝 ～コラボレーションによる新事業 で変わる地域産業のカたち～」	■ 部長	30人
12月13日 (木)	三井住友信託銀行 福岡支店	三井住友信託銀行福岡支店90周年記念セミナー 「九州地区のインバウンドの現状と将来動向」	■ 研究主査	130人
12月19日 (水)	北九州市立大学	環境都市論「九州の再生可能エネルギー」	■ 主任研究員	50人
12月26日 (水)	(一社)九州経済連合会	九州経済連合会事務局員勉強会「2019年度九州 経済の見通し」	■ 研究主査	30人
1月22日 (火)	九州運輸局	物流効率化シンポジウム in 大分	■ 部長	140人

1月25日 (金)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	第6回太陽光発電技術戦略委員会	■次長	30人
1月29日 (火)	三井不動産リアルティ九州(株)	リアルティセミナー	■研究主査	60人
2月5日 (火)	(一社)九州経済連合会	第2回長崎地域委員会「異業種参入からの農業への参入の現状と今後の展開」	■部長	35人
2月6日 (水)	(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター	第2回福岡県太陽光発電(PV)保守・リサイクル推進協議会「長期安定稼働を見据えた太陽光発電所のO&Mとセカンダリマーケットを巡る動向」	■次長	30人
2月13日 (水)	大分県	大分県政策委員会「外国人労働者の受け入れについて」	■次長	50人
2月15日 (金)	(一社)九州経済連合会	第2回宮崎地域委員会「IoTの現状と今後の展望」	■部長	32人
2月17日 (日)	(公財)久留米市生きがい健康づくり財団(久留米市生涯学習センター)	平成30年度 時事講座・後期	■研究主査	60人
2月19日 (火)	熊本/大分経済同友会	熊本大分経済同友会交流懇談会「スポーツの成長産業化と九州経済」	■部長	50人
2月22日 (金)	南小国町	南小国町 ドローンを活用したまちづくりシンポジウム	■主任研究員	50人
2月28日 (木)	(株)オービック	オービック情報システムセミナー「スポーツの成長産業化と九州経済」	■次長	50人
3月13日 (水)	福岡県経営者協会	福岡県経営者協会一月会「スポーツの成長産業化と九州経済」	■次長	50人
3月13日 (水)	(株)福岡リアルティ	定期研究会「2019年、2020年の国際的なイベントがもたらす福岡・九州への経済効果」	■部長	50人

2. セミナー等への参加・企画協力(計19件)

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLIの会議室提供などで協力した。

【協力実績】

日程・場所	主催者	会合名	備考
5月8日(火)～10日(木) 福岡国際会議場	アジア太平洋地域 ITS フォーラム 2018 福岡実行委員会	アジア太平洋地域 ITS フォーラム 2018 福岡	後援
6月4日(月) TKP ガーデンシティ天神	(一社)九州ニュービジネス協議会	第139回ベンチャープラザ二月会	後援
7月10日(火) 久留米シティプラザ	駐福岡大韓民国総領事館、久留米市、 大韓貿易投資振興公社	2018 韓国人材活用セミナーin 久留米市	後援
7月19日(木) 福岡アジア美術館	(公財)福岡アジア都市研究所	住みやすく 働きやすい 都市『福岡』のしくみを考える	後援
8月6日(月) TKP ガーデンシティ天神	(一社)九州ニュービジネス協議会	第140回ベンチャープラザ二月会	後援
9月14日(金) BIZCOLI	(公財)トヨタ財団/認定 NPO 法人ア カツキ	トヨタ財団「国内助成プログラム」公募説明会in 福岡～地域課題解決に取り組む市民活動団体等のための調査技術入門セミナー	後援
10月16日(火) 電気ビル共創館	福岡県、福岡経済同友会	第6回社会貢献セミナー・交流会 「企業と NPO との協働推進～社会貢献セミナー～」	後援
10月22日(月) 電気ビル共創館	(一社)ジャパン・コスメティックセン ター	九州コスメセミナー	共催

11月12日(月) BIZCOLI	計測自動制御学会	特別講演会「社会とデザイン」	共催
11月14日(水) 博多バスターミナル	九州経済産業局/福岡県/九州環境エネルギー産業推進機構/(一社)太陽光発電アフターメンテナンス協会/九経調	太陽光発電所メンテナンスビジネスのあり方と発電所中古売買 セミナー	共催
11月19日(月)・26日(月)・12月3日(月)・10日(月) BIZCOLI	福岡大学、㈱福岡銀行	「福岡大学×福岡銀行」アイデアソン	協賛
11月22日(木) 福岡市科学館	(公財)福岡アジア都市研究所	平成30年度第2回都市セミナー 「eスポーツの今と未来」～eスポーツによる都市・地域の活性化と将来展望～	後援
11月28日(水) ㈱新出光ファシリティーズ 新門司ソーラーパーク	九州経済産業局/福岡県/北九州市/(一社)太陽光発電アフターメンテナンス協会/九経調	メンテナンス技術者育成講座 PVams O&M メニュー研修会	共催
12月22日(土) BIZCOLI 交流ラウンジ	(公社)日本気象学会、福岡管区気象台、(一社)日本気象予報士会	気象サイエンスカフェ in 九州～2018年夏の「危険な暑さ」その真相に迫る	後援
1月29日(火) 熊本キャッスルホテル	マレーシア投資開発庁、国際機関日本アセアンセンター	マレーシアにおける電子・電機産業の現状と展望/Industry4.0とビジネス機会	後援
2月13日(水) 九州大学	九州大学	九州大学「持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム」成果報告会	後援
2月16日(土) TKP ガーデンシティ天神	福岡市	福岡市「ライフプラン応援セミナー」～「人生の実りの秋」に始めよう！」	共催
3月2日(土) 電気ビル本館	日本学術会議若手アカデミー	地方における若手科学者を中心とした学術活動の活性化 シチズンサイエンスを通じた地方課題解決～市民と科学者が“つながる場”について考える～	共催
3月7日(木) レソラ天神	EY 新日本有限責任監査法人	成長シナリオと課題解決型ビジネスモデル	後援

事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)



公益財団法人九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

令和元年度事業報告について

事業報告

定款第5条に基づき、令和元年度は、以下の事業を実施した。(総括)

1. 創立70周年記念事業 (1) 事業概要 ①「30年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究 ②九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催 ③ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供 (2) 募金活動の状況
2. 地域経済研究事業 (1) 自主研究事業 ①九州経済白書の刊行 ②月報等定期刊行物の発行 ③幹事会からの提案による自主研究 ④地域経済情報のデジタル配信 ⑤その他の事業 (2) 受託研究事業 (3) 九経調地域研究助成・顕彰事業
3. 講演会・セミナーの開催 (1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等 ①九州経済白書説明会 (2) 定例の講演会・セミナー ①九経調交流会 ②研究報告会 ③アジア経済講演会 ④調査技法セミナー ⑤経済講演会 ⑥地域研究顕彰事業研究発表会 (3) BIZCOLIでのセミナー・イベント ①イブニングセミナー ②地域経営セミナー ③九州国立博物館応援セミナー ④サイエンス・カフェ ⑤BIZCOLI倶楽部 ⑥文化アートイベント ⑦ビッグデータセミナー
4. 経済図書館(BIZCOLI)事業 (1) 地域経済図書館としてのサービス (2) 講演会・セミナー会場の運営 (3) スキルアップのための個室空間の提供
5. 経済団体等支援事業 (1) 福岡経済同友会からの事務局受託 (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局 (3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局
6. 社会貢献活動等 (1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 (2) 大学への非常勤講師の派遣 (3) テレビ・ラジオ等への出演 (4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載
7. 運営基盤の拡充 (1) 会員数の増加 (2) 理事会、評議員会、幹事会、企画委員会、参与会の開催 (3) 人材育成の強化

1. 創立 70 周年記念事業

(1) 事業概要

①「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究

令和元年 12 月に「30 年後に向けた九州地域発展戦略」を刊行した。12 月に開催した「未来を考えるシンポジウム」をはじめとして、関係各所で総論を中心に報告した。その他、数多くの新聞各紙で報道され、講演依頼、外部寄稿等（計 6 カ所程度）にも積極的に対応した。各論についても、ビズコリトークの一環として計 3 日、1 回当たり 2 名が登壇し 6 章分のセミナーを行った。

また、当該分野の識者を招聘しての未来セミナーを開催し、30 年後の未来に関する情報収集に努めた。10 月には、「社会的インパクト投資が変える未来の世界」について開催した。

②九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催

九州・沖縄・山口の各県において「未来を考えるシンポジウム」を開催した。令和元年度は、長崎、福岡、沖縄で開催した。

日時・会場	テーマ・講師	共催・後援機関	参加者数
【長崎】 9月26日 (木) 長崎県庁	次世代モビリティが地域を変える～新幹線開通後の長崎県内の新たなエコシステム構築に向けて <基調講演> 「新たなモビリティサービスが地域を活性化する」 東京大学生産技術研究所 教授 ████████ 氏 <パネルディスカッション> 「長崎県内の新たなモビリティシステム構築に向けて」 コーディネーター：日本銀行長崎支店長 ████████ 氏 パネリスト： SBドライブ(株)代表取締役社長 ████████ 氏 長崎県立大学 国際社会学部長 ████████ 氏 みなと観光バス(株)代表取締役 ████████ 氏 一般社団法人 EMOBIA 代表理事 ████████ 氏	共催： (株)十八銀行 (株)親和銀行 (株)長崎経済研究所 当会 後援： 長崎県 長崎市 長崎経済同友会	148人
【福岡】 12月16日 (月) ホテルオークラ 福岡	日本・九州の未来を拓く～持続的発展に求められるビジョンと戦略 <特別講演> 「持続的経済成長に向けた日本の課題」 元公益社団法人経済同友会 代表幹事 元武田薬品工業株式会社 相談役 ████████ 氏 <報告> 「30 年後に向けた九州地域発展戦略」 当会 調査研究部長 ████████	主催： 当会 後援： 九州地方知事会 (一社)九州経済連合会 九州商工会議所連合会 九州経済同友会 九州経営者協会	294名
【沖縄】 1月31日 (金) ロワジュールホテル那覇	アジアの人・モノ・データの結節点 OKINAWA <基調講演> 「ポテンシャルを發揮してアジアで輝くために」 東京大学 教授 ████████ 氏 <パネルディスカッション> コーディネーター：東京大学 教授 ████████ 氏 パネリスト： アイペックスグローバルオペレーションズ(株)代表取締役社長 ████████ 氏	共催： (株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所 当会 後援： 内閣府沖縄総合事務局 沖縄県	128人

	(株)リウボウホールディングス 代表取締役会長 ████████ 氏 (株)リクルートライフスタイル沖縄 代表取締役社長 ████████ 氏		
--	--	--	--

③ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供

- 九州地域経済分析プラットフォーム（愛称：DATASALAD／データサラダ）

オープンデータ・ビッグデータを活用した「九州地域経済分析プラットフォーム（愛称：DATASALAD／データサラダ）」を立ち上げた（令和元年11月ベータ版公開、令和2年4月本格稼働）。同プラットフォームでは、①アウトルック、②ビッグデータ、③景気指標、④産業指標、⑤社会指標、⑥経済マップ、⑦経済トレンドという切り口でデータを提供した。

	データの内容等
①アウトルック	都道府県別の主要な景気指標を提供。
②ビッグデータ	宿泊予約サイトのAPI（ソフトウェアの機能を共有する仕組み）を活用した全国の宿泊プランデータや、都道府県別の求人数等について日々収集しているデータを掲載。これらのデータは、新型コロナウイルスの影響に関する政府の閣僚会議資料にも掲載された。
③景気指標	新規・独自のコンテンツである都道府県予測CI（景気動向指数）を軸に、九州経済調査月報において景気分析に用いている月次データ等をデジタルデータで提供。都道府県予測CIに関しては、九州地域（九州・沖縄・山口）に加えて、全国の都道府県を作成しており、九州地域の全国各地との比較やポジショニングの把握ができるようにした。
④産業指標 ⑤社会指標 ⑥経済マップ	産業指標・社会指標に関しては、人口、産業構造、貿易、出入国などの指標を掲載。経済マップに関しては、将来推計人口や将来世帯数などのマーケティング・地域政策の基礎データに加えて、公示地価と都道府県地価調査の地価データを掲載。
⑦経済トレンド	メルマガ配信している「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」をデータベースとして、海外進出や設備投資、新規事業等の個別企業の動きを取りまとめたデータに関して、検索可能な形で提供。

- レベニューマネジメント支援システム

データサラダのために収集した各宿泊施設の予約に係る各種データより、宿泊商品の完売確率システムを開発した。また、より詳細なデータや指標を入手したい事業者らにむけて、宿泊事業者と共同研究契約及び秘密保持契約を締結したうえで、キャンセル率や長期（1年程度）に渡る予約曲線等の予測モデルを開発した。

（2）募金活動の状況

令和元年度末時点の募金活動の状況は次のとおりであった。

- 募金目標額 1億円
- 募集期間 平成28年4月1日～令和2年3月31日
- 依頼先数 125社
- 寄附承諾 107社／1億651万円

2. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」を中心に取り組んだ。

①九州経済白書の刊行

「九州経済白書」は、その年の経済・社会情勢を踏まえて、毎年テーマを変えながら調査・研究を行っている。53回目となる令和元年度は、「ベンチャー企業の成長による地域活性化」をテーマに調査執筆し、令和2年2月に発刊した。バブル経済崩壊以降、わが国は「失われた30年」による低迷が続き、新たなビジネス創出が十分ではなかった。新たなビジネスにより市場を開拓するためには、企業の新陳代謝が必要だが、これに貢献すると期待されるのがベンチャー企業である。ベンチャー企業に焦点をあて、九州地域のベンチャー企業と支援サイド（金融機関、産業界、行政等）の実態や特徴、九州地域の強みや課題をとりまとめた。その上で、九州地域における地域活性化につながるベンチャー企業のあり方と、そのために必要な支援策・取組みについて提案した。

なお、2月5日の福岡会場より、九州・沖縄・山口12会場で白書説明会を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、説明会は2月21日までの6会場までを実施し、残り6会場での開催は延期とした。

②月報等定期刊行物の発行

1) 九州経済調査月報

上期は、九経調地域研究助成・顕彰事業の表彰作品を5月号に掲載した。空港開発（6月号）や港湾開発（8月号）など、九州における重要なインフラ整備に関する特集のほか、市場の変化が著しい太陽光発電（9月号）の特集を実施した。また、カルチャーコンテンツ（7月号）など、地域の資源を活用した地方創生の取り組みとその成果を分析する地方創生特集（10月号）にも力を入れた。

下期は11月号において、70周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム（DATASALAD/データサラダ）について、オリジナルなビッグデータである「日次宿泊稼働指数」や「都道府県予測CI（景気動向指数）」を紹介し、1月号では、恒例となった九州の新たな1年を特集した。

発行日	内 容
5月号 4月26日 (金) 発行	特 集 九州の地域研究 (Report) 2018年度九経調地域研究助成・顕彰事業概要と審査結果、研究発表会 過疎地域における賃貸住宅が移住促進と地域社会に与える影響に関する研究 新しい時代を迎える高等学校図書館の可能性 くるめ野菜の普及を通じた地域農業の振興と卸売市場の変化 (One point) 売上が増加する福岡市都心商業地 (連載) 価値創造の源流 (48) ㈱佐喜眞義肢

<p>6月号 5月31日 (金) 発行</p>	<p>特 集 九州の空港開発 (Report) 九州の空港開発 2030年訪日外国人6,000万人時代は地方空港から 地方空港の概念を覆す「みやこ下地島空港ターミナル」 プレミアム沖縄創生戦略 (連載) 地域SDGsとスポーツ(4) 大分国際車いすマラソン</p>
<p>7月号 7月1日 (月) 発行</p>	<p>特 集 カルチャーコンテンツによる地方創生 (Report) カルチャーコンテンツによる地方創生 コンテンツツーリズムを楽しむ人々 沖縄県におけるコンテンツツーリズムによる地域振興 長崎発コスプレイベント「キャラめるPOP NAGASAKI 2」の実践 (One point) ビッグデータでみる高級宿泊施設の分布 (連載) 価値創造の源流(49) 株くらて学園 地域SDGsとスポーツ(5) 飯塚国際車いす大会</p>
<p>8月号 7月31日 (水) 発行</p>	<p>特 集 港湾が繋ぐ九州経済 (Report) 港湾が繋ぐ九州経済 「KYUSHU コネクトポート構想」を策定 九州の港湾と内航RORO/フェリーへのモーダルシフト 北部九州港の現状と展望－国際物流の視点から－ PORT2030から今後の九州における港湾空間形成の取り組みを考える (One point) 平成30年間における九州地域の貿易構造の変化 (連載) 価値創造の源流(50) 小原醸造株</p>
<p>9月号 9月2日 (金) 発行</p>	<p>特 集 太陽光発電市場の新たなステージ (Report) 太陽光発電市場の新たなステージ 日本における太陽光発電産業の現状と将来展望 求められる太陽光発電所のO&Mとセカンダリマーケットの成熟～九州発の O&Mビジネス確立を目指して～ 卒FITがもたらす新天地～プロシューマーの視点から～ (連載) アグリプレナーの実践(21) 先端技術や国際基準を取り入れ、周年安定出荷に取り組む重元園芸</p>
<p>10月号 10月1日 (火) 発行</p>	<p>特 集 地方創生事業の成果 (Report) 地方創生事業の成果 地方創生の実現に求められる地域人材“志民”の育成 地方創生事業の現状と成功要因 九州における地方創生事例 新市場に挑む鹿児島県茶 2019年度九州経済の見通し(改訂)～成長率を下方修正</p>
<p>11月号 10月31日 (木) 発行</p>	<p>特 集 ビッグデータによる地域経済分析 (Report) ビッグデータによる地域経済分析 ～プラットフォームとしてのDATASALADの開発 データ活用仮設量産フレームワークDIVAと主客一体経営 経済統計利活用の課題とDATASALADが目指すもの CI手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性 宿泊施設向けレベニューマネジメント支援システムについて DATASALAD「市区町村別宿泊施設稼働状況」を活用した観光動向分析 地震復興インデックスによる熊本地震の被害と復興状況の把握</p>

12月号 12月2日 (月) 発行	特 集 (Report) 地域ものづくり企業の生産性向上 地域ものづくり企業の生産性向上 ロボット導入と中小ものづくり現場における生産性向上 製造業の生産性向上をサポートする北部九州のものづくり系 Sler 稼ぐ事業・地域を創るために (One point) 岐路に立つ九州のインバウンド戦略
1月号 12月27日 (金) 発行	特 集 (Report) 九州の新たな1年 九州の新たな1年 外需持ち直しにより成長率上向く 日次データと機械学習の活用による景気予測 欧米の先を行く企業統治「公益資本主義」 (One point) 駆け込み需要の業態特性と地域特性
2月号 1月31日 (金) 発行	特 集 (Report) 福岡都市圏の成長力 福岡都市圏の成長力 世界の地方中枢都市としての福岡のグローバルな成長を検証する 福岡都市圏における人口成長点と非成長点 福岡都市圏の未来の交通インフラを考えるシンポジウム (連載) アグリプレナーの実践 (22) 農業スタートアップの集積地を目指すこゆ財団 九州今昔物語 (8) 海運シンポジウム「令和の時代によみがえる北前船」 基調講演「北前船と玄界灘の海運」講演録
3月号 3月2日 (月) 発行	特 集 (Report) 地域公共交通と MaaS 地域公共交通と MaaS 地域公共交通の「これまで」と「これから」 転換期の地域公共交通と MaaS の可能性 九州における経路検索の状況と九州運輸局の取り組み 次世代モビリティが地域を変える (One point) 日本の二酸化炭素の排出量ほどの程度か
4月号 4月1日 (水) 発行	特 集 (Report) オリンピック・パラリンピック後のインバウンド戦略 オリンピック・パラリンピック後のインバウンド戦略 東京 2020 退会後の地方のインバウンド戦略 オリンピック・パラリンピック後に向けた九州の観光 九州観光への提案 英国ラグビーツーリズム in 九州 (One point) 2018年の鉄道ダイヤ見直しが沿線住民に与えた影響 新型コロナウイルス感染拡大による宿泊施設への影響

2) データ九州 (九州経済調査月報付録)

データ九州は、九州経済調査月報付録として1年に4回発行している。9月号と3月号では、それぞれ上半期と下半期の「設備投資」の動向をまとめた。11月号では、地方創生の第一期を総括したアンケート調査結果を、4月号では恒例の「海外進出」を取りまとめた。

なお、データ九州は No.1171 をもって冊子の発行を終了し、今後は九州地域経済分析プラットフォーム (DATASALAD/データサラダ) にてデジタルデータとして提供していくことになった。

9月号	データ九州 (No1168)	「九州・山口の設備投資 (2019 上半期 1~6 月)」
11月号	データ九州 (No1169)	「地方創生事業に関するアンケート 集計結果」
3月号	データ九州 (No1170)	「九州・山口の設備投資 (2019 下半期 7~12 月)」

3) 2020年版 図説九州経済

九州・沖縄・山口の経済を、図表やデータで分かりやすく解説したもので、毎年1回刊行している。2020年版も海外からのお客様のニーズを意識し、図表タイトル等や凡例での英語表記を充実させるほか、九州地域の観光分野でニーズの高い温泉マップを追加した。

『2020年版 図説九州経済』

令和元年10月17日刊行

4) メールマガジン(九経調ニュースレター)

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月2回配信した他、当会主催・共催のセミナー等の案内、当会の刊行物の案内を配信した。

メールマガジン配信件数144件 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

③幹事会からの提案による自主研究

「九州におけるリカレント教育のあり方(仮題)」をテーマに、上期は、①教育機関向け、②企業向け、③個人向けの3本のアンケート調査を実施した。下期はアンケート調査結果の分析をもとに、参考となる取組みを行う企業や大学等へのヒアリングを進め、報告書の作成を進めた。

◆『九州におけるリカレント教育のあり方(仮題)』報告書構成(案)

はじめに

第1章 経済社会の変化とリカレントの必要性

第2章 九州におけるリカレントの現状と推進に向けた課題

第3章 リカレント推進に資する先進的な事例

第4章 生涯活躍できる地域・九州の実現に向けて(提言)

④地域経済情報のデジタル配信

創立70周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム(DATASALAD/データサラダ)を活用して、月報、データ九州、図説九州経済を始めとする地域経済情報のデジタル配信に向けて準備を進めた。月報掲載の主要統計とデータ九州のデータを中心としつつ、主要な景気指標と予測指標を中心に、時系列データとマップの形式で提供を図った。

⑤その他の事業

地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部等との意見交換会などを行った。

A. 国内研究会の開催、参加

1) 九州・山口地方銀行調査担当部長会議

昭和 42 年度より毎年 2 回、九州・沖縄・山口の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っている。令和元年度は下関と久留米で開催された。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
7月25日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当部長会議（下関）	「欧米豪から見た九州の関心度」	片山部長（講演）	15人
12月5日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当部長会議（久留米）	「地域経済データを活用した新たなデジタル情報サービスについて」	片山部長（講演）	13人

加盟機関

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(公財) 地方経済総合研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)ちくぎん地域経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(株)おきぎん経済研究所
(株)佐賀銀行総合企画部	(一財) みやぎん経済研究所	(一財) 山口経済研究所
(株)長崎経済研究所	(株)九州経済研究所	(公財) 九州経済調査協会

2) 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟している。令和元年度は、九州・沖縄ブロック総会の後に開催された研究事例発表会において、当会から九州地域経済分析プラットフォーム（DATASALAD / データサラダ）について発表した。今年度は全国の地方シンクタンクを集めての総会、経営者会議が福岡市内で開催され、当会を始めとして九州・沖縄ブロックに加盟する 5 機関が参加した。なお、3 月に予定していた九州・沖縄ブロックの若手研究員交流会は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮して中止した。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
6月20日 (木)	地方シンクタンク協議会 九州・沖縄ブロック総会・研究事例発表会・交流会（那覇）	「九州地域経済分析プラットフォーム（仮）」	■■■■ 部長（報告者）、■■■■ 副部長	14人
6月20日 (木)	地方シンクタンク協議会 九州・沖縄ブロック意見交換会（那覇）	「那覇市観光協会の事業概要と沖縄（那覇市）の観光について」	(一社)那覇市観光協会事務局長 ■■■■ 氏	16人
7月5日 (金)	地方シンクタンク協議会総会、経営者会議	「産学官での事業創出プラットフォームの取組から」	福岡地域戦略推進協議会事務局長 ■■■■ 氏	30人
3月 【中止】	地方シンクタンク協議会 九州・沖縄ブロック若手研究員交流会	—	—	—

九州・沖縄ブロック加盟機関

(公財)福岡アジア都市研究所	(株)よかネット	(株)ちくぎん地域経済研究所
(一財) 南西地域産業活性化センター	(公財)九州経済調査協会	

B. 国際会議の開催、参加

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
7月12日(金)	釜山-福岡の交流拡大に向けたシンポジウム	スポーツの成長産業化と九州経済	■■■■ 理事長、■■■■ 部長、■■■■ 次長	40人
2月15日(土)	第14回 福岡・釜山フォーラム、釜山会議 2019 (釜山広域市)	釜山・福岡から日韓の未来を創る	■■■■ 理事長、■■■■ 部長	50人

C. 東京大学地域未来社会連携研究機構との連携事業

地域経済社会の発展に寄与することを目的に、平成30年4月1日、東京大学地域未来社会連携研究機構と連携協定を締結した。3つの連携内容として、①シンポジウムやワークショップ、共同研究等を通じた地域研究の推進、②地域の課題に応えるプロフェッショナル人材の育成・交流、③「地域未来投資促進法」等の国や自治体の各種事業との連携がある。

令和元年度は、東京大学で開催された機構主催の公開シンポジウム「データ駆動型社会における地方創生」において、「地域経済データ基盤「データサラダ」による地方創生への挑戦」と題して当会から報告を行ったほか、当会70周年記念事業の沖縄開催のシンポジウム「アジアの人・モノ・データの結節点 OKINAWA」において、機構長の東京大学松原宏先生に基調講演を務めていただくなど連携を深めた。

D. 在外公館に対する九州経済セミナー

在福の総領事館・領事館等の職員向けに、九州経済の理解促進とPRを兼ねて、九州経済の現状や将来に関するセミナーを開催した。

日程	会議名	内容	当方参加者	参加者数
1月24日(金)	在外公館に向けた九州経済セミナー	九州経済のアウトライン 30年後に向けた九州地域発展戦略	■■■■ 理事長、■■■■ 部長、■■■■ 部長	15人

参加機関

在福岡アメリカ領事館	中華人民共和国駐福岡総領事館	駐福岡大韓民国総領事館
在福岡ベトナム総領事館	在福岡タイ王国総領事館	韓国貿易センター

(2) 受託研究事業

令和元年度の受託研究は計61本のプロジェクトに取り組んだ。

令和元年度は、平成30年度に続き、地方自治体の総合計画、地方創生総合戦略策定支援の業務が多く、7市の総合計画・総合戦略(及び人口ビジョン)策定支援業務を受託した。また、産業振興の分野では農林水産・食料品分野が多く、“スマート農業”“農林水産物輸出”“農漁村集落の維持”等の調査研究を行った。この他、新型コロナウイルス対策としてビッグデータを用いた来街者数への影響調査も行った。

【分野別受託研究一覧】

(統計作成・分析)		
1	地域別支出総合指数(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
2	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	(株)バズフック
3	景気ウォッチャー調査(九州地域)	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) (内閣府)
4	中小企業の動向分析業務	福岡県
(地方創生)		
5	第2期古賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定支援業務委託	古賀市
6	「第2次佐賀市総合計画」及び「佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直し等に向けた調査分析業務	佐賀市
7	にしきまるごと創造プロジェクト運営支援業務	錦町
8	次期総合戦略並びに人口ビジョン策定支援等業務委託	下関市
(地域振興)		
9	九大学研都市中期経営計画策定業務	(公財)九州大学学術研究都市推進機構
(産業振興)		
① 産業全般		
10	熊本県産業振興ビジョン(仮称)策定基礎調査業務	熊本県
② 電子部品・デバイス関連		
11	アジア半導体機構企画・運営業務	アジア半導体機構
	先進的IoT製品・サービスの調査	福岡県
③ 環境・資源エネルギー		
12	平成31年度地域中核企業創出・支援事業(太陽光発電の3R事業化促進事業)	(一財)九州産業技術センター
13	熊本県の太陽光発電地域サポート体制構築事業	熊本県
④ 観光		
14	第2期九州観光戦略第3次アクションプラン支援業務	(一社)九州経済連合会
15	持続可能な観光振興に係る方向性検討業務委託	福岡市
16	福岡県、福岡市におけるRWCの経済波及効果測定業務	RWC2019福岡開催推進委員会
17	「産業ガイド」等の改訂作業(仮称)	(公財)福岡観光コンベンションビューロー
⑤ 農林水産・食料品		
18	令和元年度九州SDGs経営推進モデル事業及び食料品製造業の競争力強化による輸出戦略策定調査事業	九州経済産業局
19	新しい日田の森林・林業・木材産業ビジョン改訂	日田市
20	少子高齢化社会における第一次産業の維持発展方策に関する調査研究に係る基礎調査業務	(一財)地方自治研究機構
21	東北活性研の白書執筆支援業務(仮)	(公財)東北活性化研究センター
⑥ 医療・福祉		
22	福岡県ジェネリック医薬品ガイドブック等作成業務	福岡県
23	平成31年度福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市
24	大牟田市地域医療・介護連携ビジョン推進支援業務	大牟田市
⑦ 新産業・新技術		
25	平成31年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金(地域中小企業知的財産支援力強化事業)	九州経済産業局

26	宇宙産業リスト作成業務	大分県産業創造機構
⑧ 流通・物流		
27	「沖縄県内物流に関する需給バランスの現状と将来推計」の調査・分析業務	沖縄振興開発金融公庫
28	大分市公設地方卸売市場の整備・運営化に関する基本計画策定業務委託	大分市
29	小売販売額・入込客数調査業務委託	熊本市
(社会資本)		
30	下関港長州出島の産業振興用地売却に係る企業動向分析及び公募要綱策定等支援業務	下関市
31	令和元年度九州地域の港湾整備に関連する企業の投資動向調査	九州地方整備局
32	大分駅前新設の広場における経済的効果・評価業務(仮)	大分市
33	行橋市における経済波及効果に関する分析業務 2	㈱日本総合研究所
34	令和元年度生活交通に関する住民意識調査業務	福岡市
(雇用・人材育成等)		
35	公的職業訓練に関するサービスガイドライン設計業務	職業訓練法人福岡地区職業訓練協会
36	平成 31 年度飲食サービス業事業所ヒアリング支援及び企業ニーズの把握・分析業務委託	(公社)福岡県雇用対策協会
37	石垣市における人手不足の実態調査及びその対処策の立案等業務	石垣市
(アジア戦略)		
38	中小企業 ODA 案件化調査	中島物産㈱ (JICA)
(行財政)		
39	長崎県の近未来像 (グランドデザイン) 策定に関する業務委託	長崎県
40	直方市総合計画策定支援業務	直方市
41	第 6 次田川市総合計画基本構想策定業務委託	田川市
42	第 2 次唐津市総合計画後期基本計画作成業務	唐津市
43	第 2 次下関市総合計画後期基本計画策定・編纂支援業務	下関市
(その他)		
44	平成 31 年度「九州経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援事業」	WorkStep㈱ (九州経済産業局)
45	企業誘致・県外 UI ターン (仮)	沖縄県 大阪事務所
46	政策金融評価の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
47	地域政策デザイナー養成講座支援事業	地域政策デザイナー養成講座実行委員会
(シンポジウム等)		
48	九州経済を考える懇談会の実施	(一財)九州地域産業活性化センター
49	福岡都市圏道路企画調査業務	九州地方整備局 福岡国道事務所

(3) 九経調地域研究助成・顕彰事業

九経調地域研究助成・顕彰事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、平成 26 年度から実施している。助成事業については、4 月 2 日～5 月 31 日の応募期間に 17 本の申請があり、6 月 25 日に開催した「九経調地域研究助成・顕彰委員会」で 3 本の助成先候補を選定後、理事会にて助成先を決定した。顕彰事業は、7 月 22 日～1 月 31 日に一般論文を募集、助成論文 3 本と合わせて計 4 本の論文が審査対象となり、2 月 21 日に開催した「九経調地域研究助成・顕彰委員会」で最優秀賞と優秀賞を選定、理事会にて顕彰先を決定した。

助成先の審査結果（10万円助成／本）

	テーマ	申請者・研究代表者
1	利用者数が飛躍的に増加した駅前図書館の事業運営とその成立する立地の条件～駅前市街地の賑わい復興のために～	九州大学経済学府 産業マネジメント専攻
2	超高齢化や急速に変化する社会に適応した、公益的信託運用組織のあり方についての研究	株式会社YOUI 代表取締役
3	企業向け参加型セミナーによる障害者雇用の促進を目指した新たな価値創造	(一社)Togatherland

顕彰先の審査結果

顕彰内容	テーマ	研究代表者	備考
【最優秀賞】 副賞:10万円	多様な個性を活かす職場づくりを目指した新たな価値創造～発達障害の視点を通して働き方を相乗共創する～	(一社)Togatherland	10万円 研究助成
【優秀賞】 副賞:記念品	超高齢化や急速に変化する社会に適応した、公益目的的信託運用組織のあり方について	株式会社YOUI 代表取締役	10万円 研究助成

九経調地域研究助成・顕彰委員会 委員

	氏名（敬称略）	所属	役職	備考
1		九州大学	理事・副学長	大学
2		福津市	副市長	公共
3		㈱西日本新聞社	社長	民間
4		㈱日本政策投資銀行	九州支店長	民間
5		(公財)九州経済調査協会	理事長	主催者

九経調地域研究助成・顕彰事業スケジュール

期間	内容
4月2日（火）～5月31日（金）	研究テーマの募集
6月25日（火）	令和元年度 第1回 九経調地域研究助成・顕彰委員会 助成先を選定（書面理事会で決定）（令和2年1月31日 論文提出締切り）
7月22日（月）～1月31日（金）	論文の一般募集
2月21日（金）	令和元年度 第2回 九経調地域研究助成・顕彰委員会 最優秀賞、優秀賞を選定（3月2日、理事会で決定）
3月9日（月） 【中止】	研究発表会。顕彰論文を表彰、みぞえ賞受賞者による発表（於：電気ビル共創館 カンファレンスC）

3. 講演会・セミナーの開催

当会では、研究成果を広く伝えるために、定例の講演会やセミナーを各地で開催した。当会主催で開催した講演会・セミナーは70回で、中止や延期となったケースは12回であった。

(1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等

①九州経済白書説明会（開催6回、延期6回）

九州経済白書の刊行に際し、関係機関の協力を得ながら令和2年2～3月に九州・沖縄・山口12会場で説明会を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により6カ所で開催を延期とした。

地区	日時	会場	共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡	2月5日 (水)	FFGホール(福岡銀行本店地下)	(株)ふくおかフィナンシャルグループ 福岡商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング	■■■■次長	189人
北九州	2月27日 (木) 【延期】	FFG北九州本社ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (一社)西日本工業倶楽部 北九州商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング	■■■■次長	—
久留米	3月5日 (木) 【延期】	筑邦銀行本店	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	■■■■次長	—
佐賀	3月3日 (火) 【延期】	佐賀銀行本店	(株)佐賀銀行	■■■■次長	—
長崎	2月10日 (月)	十八銀行本店	(株)十八銀行 (株)長崎経済研究所	■■■■部長	60人
佐世保	2月20日 (木)	FFG佐世保ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)親和銀行 佐世保商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング	■■■■部長	20人
熊本	2月18日 (火)	肥後銀行熊本駅前支店	(株)肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	■■■■次長	48人
大分	3月12日 (木) 【延期】	大分銀行 宗麟館	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	■■■■次長	—
宮崎	3月6日 (金) 【延期】	宮崎観光ホテル	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	■■■■次長	—
鹿児島	2月21日 (金)	鹿児島銀行本店 別館ビル3階	(株)鹿児島銀行 (株)九州経済研究所	■■■■部長	50人
沖縄	2月14日 (金)	パシフィックホテル沖縄	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	■■■■次長	37人
山口	3月12日 (木) 【延期】	シーモールパレス	(株)山口銀行 (一財)山口経済研究所	■■■■部長	—

(2) 定例の講演会・セミナー

①九経調交流会（開催1回）

当会会員との交流を目的に毎年開催しており、令和元年度は12月に福岡で創立70周年記念事業「未来を考えるシンポジウム」と併せて開催した。経済同友会の元代表幹事の■■■■氏による特別講演「持続的経済成長に向けた日本の課題」と併せて、70周年事業で研究してきた「30年後に向けた九州地域発展戦略」を発表した。

日程	テーマ	講師	参加者数
12月16日 (月)	日本・九州の未来を拓く～持続的発展に求められるビジョンと戦略 <特別講演> 「持続的経済成長に向けた日本の課題」 <報告> 「30年後に向けた九州地域発展戦略」	<特別講演> 公益社団法人経済同友会 元代表幹事 武田薬品工業株式会社 元相談役 ■■■■氏 <報告> 当会 調査研究部長 ■■■■	294名

②研究報告会（開催1回）

令和元年度は、前年度の幹事会提案に基づいて「Society5.0による地方創生～社会課題の解決を目指す九州企業～」をテーマに研究報告会を開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
7月24日 (水)	Society5.0による地方創生～社会課題の解決を目指す九州企業～	■■■■次長	102人

③アジア経済講演会（開催1回）

昭和37年以来、アジア経済研究所との共催で毎年開催している。令和元年度は、ベトナム経済をテーマに開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
10月9日 (水)	新時代のベトナム経済 ～次なるビジネスチャンスと日越関係～	ジェトロ・アジア経済研究所 東南アジアⅡ研究グループ長 ■■■■氏 中島物産(株) 代表取締役社長 ■■■■氏	61人

※ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、当会の三者共催

④調査技法セミナー（開催1回、※2日間開催）

九州・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。令和元年度は、創立70周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム（DATASALAD/データサラダ）に連動するプログラムで開催した。

日程	内容	講師	参加者数
2月3日(月)	DATASALADの紹介・デモ	■■■■部長、■■■■研究員	15人
	景気動向指数（CI）による景気動向把握	■■■■主任研究員	15人
	統計利用の効率化～DATASALADの裏側	■■■■研究主査	15人
2月4日(火)	データ活用アイデアソン		9人

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

参加機関

(株)福岡銀行	(株)長崎経済研究所	(株)九州経済研究所
(株)NCBリサーチ&コンサルティング	(一財)山口経済研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)大銀経済経営研究所	(一財)みやぎん経済研究所	沖縄振興開発金融公庫

(公財)九州経済調査協会		
--------------	--	--

⑤経済講演会（開催 1 回）

(株)日本総合研究所チェアマン・エメリタスの高橋進氏を招いて、「内外経済の展望と政策課題～地域再生なくして日本再生なし～」をテーマに、(株)ふくおかフィナンシャルグループとの共催にて 10 月に開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
10 月 24 日 (木)	内外経済の展望と政策課題～地域再生なくして日本再生なし～	(株)日本総合研究所 チェアマン・エメリタス (名誉理事長) ■■■■■ 氏	177 人

⑥地域研究顕彰事業研究発表会（中止 1 回）

助成論文と自由応募論文の執筆者による研究発表と優秀作品に対する顕彰を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止とした。

日程会場	発 表 者	参加者数
3 月 9 日 (月) 電気ビル 共創館 カンファ レンス 【中止】	<p>【論文提出者】</p> <p>①「九州・山口の中心市街地活性化に繋がる公立図書館の立地と運営」 佐倉浩之（九州大学経済学府産業マネジメント専攻）</p> <p>① 超高齢化や急速に変化する社会に適応した、公益目的の信託運用組織のあり方について ■■■■■ (株)YOUI 代表取締役)</p> <p>③多様な個性を活かす職場づくりを目指した新たな価値創造 ～発達障害の視点を通して働き方を相乗共創する～ ■■■■■ ((一社)Togatherland)</p> <p>④伝統工芸産業支援・振興手法の再構築の可能性について －佐賀県ふるさと納税と NPO による新たな支援事例より－ ■■■■■ (九州産業大学伝統みらい研究センター)</p> <p>【前年度最優秀賞受賞者】</p> <p>⑤過疎地域における賃貸住宅が移住促進と地域社会に与える影響に関する研究 －八女市上陽町久木原地区の賃貸集合住宅の事例を中心として－ ■■■■■ (八女里山賃貸(株))</p>	—

(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント

BIZCOLI では、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催している。令和元年度は合計 59 回を実施し、5 回を中止または延期とした。セミナー終了後には、交流ラウンジで名刺交換会を開催し、参加者相互の人脈形成の場を提供した。

①イブニングセミナー（開催 11 回、中止 1 回）

当会研究員や月報への寄稿者によるセミナーを毎月開催している。上期は、ポスト支店経済や地域研究、空港開発などといった九州のインフラに係るセミナー、下期はビッグデータによる地域経済分析、福岡都市圏の成長力などといった九州の成長戦略に係るセミナーを開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
4月9日(火)	ポスト支店経済	■■■■次長、■■■■主任研究員、■■■■研究主査	30人
5月14日(火)	九州の地域研究	■■■■主任研究員	18人
6月11日(火)	九州の空港開発	■■■■主任研究員、■■■■研究員	44人
7月9日(火)	カルチャーコンテンツによる地方創生	■■■■主任研究員、■■■■研究員	17人
8月6日(火)	港湾が繋ぐ九州経済	■■■■主任研究員、■■■■研究員	23人
9月9日(月)	太陽光発電の新たなステージ	■■■■次長、■■■■主任研究員	46人
10月8日(火)	地方創生事業の成果	■■■■主任研究員、■■■■研究主査	31人
11月12日(火)	ビックデータによる地域経済分析	■■■■部長兼 BIZCOLI 館長、■■■■主任研究員、■■■■研究主査	33人
12月10日(火)	地域ものづくり企業の生産性向上	■■■■主任研究員、■■■■研究員	16人
1月14日(火)	九州の新たな1年	■■■■主任研究員、■■■■研究主査、■■■■研究員	44人
2月7日(金)	福岡都市圏の成長力	■■■■主任研究員、■■■■研究員	26人
3月【中止】	地域公共交通と MaaS	■■■■主任研究員、■■■■研究員	—

②地域経営セミナー（開催 31 回、中止 2 回）

ビジネスの最前線で活躍する講師による、経営スキルアップセミナーを開催した。いずれも講師への依頼等で会員企業の協力を得て実現した。

日程	テーマ	講師	参加者数
5月15日(水)	なぜ、あの会社ばかり良い人材が集まるか？	シンワラボ(株) 代表取締役 ■■■■氏	7人
5月22日(水)	第4回未来会計セミナー ～“経営計画（目標設定）”の良否で、業績の全てが決まる～	(株)IG プレーン 代表取締役社長 ■■■■氏	23人
5月24日(金)	わかりやすい！中国越境 EC セミナー ～九州は食品を出品すべき～	(株)ナセバナル 代表取締役 ■■■■氏	17人
5月29日(水)	Web サイトで差が出る人材採用現場 ～効果的な自社サイトの活用法～	(株)AliveCast チームマネージャー ■■■■氏	20人
6月5日(水)	コラボトーク ～日本の離島は最先端！	NPO 法人離島経済新聞社 統括編集長 ■■■■氏	20人
6月14日(金)	ビジネスのための拡張現実 (AR) テクノロジー ～学生を魅了する英語学習プロセスをビジネスに応用する可能性～	九州産業大学語学教育研究センター 常勤講師 ■■■■氏 九州産業大学語学教育研究センター 常勤講師 ■■■■氏	36人
6月25日(火)	モビリティサービスとまちづくりの今	一般社団法人 EMoBIA 代表理事 ■■■■氏	42人
7月3日(水)	外国人技能実習制度及び特定技能 VISA におけるリスクマネジメントセミナー ～内在するリスクとその対処～	UT グローバル(株) 代表取締役 ■■■■氏	26人
7月4日(木)	幸せな着ぐるみ工場 ～あたたかいキャラクターを生み続ける女子力の現場～	KIGURUMI.BIZ(株) 代表取締役 ■■■■氏	39人
7月9日	Fukuoka WooCommerce Meetup with	PayPal Pte.Ltd.東京支店	13人

(火)	PayPal & Snow Monkey	Channel Partner Manager ■■■■■氏 WooCommerce コアコントリビューター ■■■■■氏 フリーランス WordPress テーマ プラグインデベロッパー ■■■■■氏	
7月16日 (火)	中国経済と米中関係の行方	日本国際問題研究所 客員研究員 ■■■■■氏	36人
7月31日 (水)	ジチタイワークス	(株)リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター 九州グループマネージャー ■■■■■氏 (株)コロプラ インキュベーション本部 おでかけ研究所 事業部長 ■■■■■氏	34人
8月20日 (火)	職場でも家庭でも使えるアンガーマネジメント	マルプロ 代表 ■■■■■氏	39人
8月27日 (火)	貴重な資源「日本の森」を守るため新しいことに挑む林業経営！	田島山業(株) 代表取締役 ■■■■■氏	32人
9月5日 (木)	持続可能な開発 SDGs と利益の創造と社会への貢献を同時に実現していくためのノウハウ	(株)テーブルクロス 代表取締役 CEO ■■■■■氏	37人
9月17日 (火)	第5回未来会計セミナー ～原価計算をとりいれよう！	IG 会計グループ (株)IG プレーン 未来会計コンサル ■■■■■氏	18人
9月20日 (金)	第3弾 わかりやすい！中国越境 EC セミナー中国ネット通販最大の商戦日 独身の日に迫る！ ～中国越境 EC の専門家 橋谷氏が語る リアルな現地情報とその実態	(株)ナセバナル 代表取締役 ■■■■■氏	7人
10月11日 (金)	第6回未来会計セミナー ～中小建設業の利益改善モデル	(株)IG プレーン 代表取締役社長 ■■■■■氏	10人
10月15日 (火)	地方創生の実現に求められる地域人材“志民”の育成	(一財)日本経済研究所 常務理事 地域未来研究センター長 兼 調査局長 東洋大学大学院 経済学研究科 客員教授 ■■■■■氏 副都心黒崎開発推進会議 幹事長 ■■■■■氏	35人
10月29日 (火)	DESIGN × BUSINESS デザインとビジネス	タカスガクデザイン アンド アソシエイツ (株) 代表取締役 ■■■■■氏	45人
10月30日 (水)	事例で学ぶ！働き方改革セミナー	(株)L is B 代表取締役/CEO ■■■■■氏	12人
11月19日 (火)	大人のこだわり文房具 ～日本初!!のノート専門店ができるまで～	プレイズストア オーナー ■■■■■氏	30人
11月25日 (月)	第1回グローバル人材育成セミナー ～新たな英語研究スタイル“オンライン英会話”	(株)レアジョブ 九州支社 支社長 ■■■■■氏 スマートメソッド®コース認定アドバイザー ■■■■■氏 西部ガス(株) 人事労政部 人財活性化推進グループ ■■■■■氏	14人
11月27日 (水)	第7回未来会計セミナー ～資金繰り完全マスター (再)	(株)IG プレーン 未来会計コンサル ■■■■■氏	14人
11月27日 (水)	幸福な職場づくり&働き方改革に効く！ ～【不の解消マネジメント】カード体験～	特定非営利活動法人沖縄人材クラスタ研究会 代表理事 ■■■■■氏	16人
12月17日	IT戦略の作り方、磨き方	ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ	27人

(火)		(株) アソシエイト・ディレクター ■■■■氏	
12月19日 (木)	地域産業のイノベーションシステム	中央大学経済学部教授/学部長 ■■■■氏	33人
12月20日 (金)	第8回未来会計セミナー ～ビジネスモデルの作り方～	(株)IG プレーン 代表取締役社長 ■■■■氏	16人
12月24日 (火)	第2回グローバル人材育成セミナー ～九州のグローバルソリューション～少し 先の未来～	(株)レアジョブ 九州支社 支社長 ■■■■氏 スマートメソッド®コース認定アドバイザー ■■■■氏 (株)九電ビジネスフロント 取締役 KYUDEN GLOBAL 事業本部長 ■■■■氏	11人
1月22日 (水)	採用サイトで応募数7倍 ～効果的な自社サイトの活用法～	(株)AliveCast チームマネージャー ■■■■氏	10人
2月18日 (火)	よなよなエール流 ファンマーケティング 戦略～チームとビールのつくりかた～	(株)ヤッホーブルーイング よなよなビール広め隊 (広報) ユニットディレクター ■■■■氏	47人
3月3日 (火) 【中止】	第3回グローバル人材育成セミナー ～TECH 業界のグローバル化～ベトナムで 活躍する日本人～	(株)レアジョブ 九州支社 支社長 ■■■■氏 スマートメソッド®コース認定アドバイザー ■■■■氏 (株)パソナテック アシスタントマネージャー ■■■■氏 Asian Tech Co., Ltd. プロジェクトマネージャー/ビジネスアナ リスト ■■■■氏	—
3月6日 (金) 【中止】	専門図書館協議会 九州地区研修会 & BIZCOLI コラボセミナー ウィキペディアで学ぶ情報リテラシー～今 さら聞けない、ウィキペディアとは～	ウィキペディア日本語版 元管理者 ■■■■氏	—

③九州国立博物館応援セミナー（開催4回）

九州国立博物館の特別展の開催にあわせて4回開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
5月16日 (木)	京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ	九州国立博物館 展示課長 ■■■■氏	35人
8月9日 (金)	室町将軍～戦乱と美の足利十五代～	九州国立博物館 展示課 主任研究員 ■■■■氏	30人
10月18日 (金)	三国志	九州国立博物館 企画課主任研究員 ■■■■氏	31人
2月21日 (金)	フランス絵画の精華	九州国立博物館 特任研究員 ■■■■氏	24人

④サイエンス・カフェ（開催9回、中止1回）

サイエンス・カフェは、九州大学が企画して当会が主催する科学者による市民向け勉強会である。大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題提供しており、数学や再生可能エネルギー、宇宙線、プラズマ、伝統建築などをテーマとして取り上げ、9回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月19日 (金)	数学的に美しい？	九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 准教授 ████████ 氏	39人
5月17日 (金)	線香花火の不思議に迫る！	九州大学大学院工学研究院 航空宇宙工学部門 准教授 ████████ 氏	36人
6月28日 (金)	再生可能エネルギー量を上げろ！	九州大学大学院工学研究院 機械工学部門助教 ████████ 氏	35人
8月2日 (金)	透視はもはや超能力ではない！？	九州大学大学院総合理工学研究院 エネルギー科学部門 准教授 ████████ 氏	32人
9月6日 (金)	光の可能性に迫る！	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー 国際研究所 准教授 ████████ 氏	39人
10月25日 (金)	プラズマプロセス技術に迫る！	九州大学大学院システム情報科学研究員 助教 ████████ 氏	28人
11月22日 (金)	つぶつぶの物理に迫る！	九州大学大学院理学研究院物理学部門 准教授 ████████ 氏	25人
12月13日 (金)	宇宙の謎にみんなで迫る！	高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 助教 ████████ 氏 高エネルギー加速器研究機構 広報室 科学コミュニケーター ████████ 氏	25人
1月24日 (金)	ニマラタンの謎に迫る！	京都大学防災研究所気象水象災害研究部門 准教授 ████████ 氏	22人
3月13日 (金) 【中止】	ブラックホールの謎に迫る！	九州大学大学院理学研究院物理学部門 助教 ████████ 氏	—

⑤BIZCOLI 倶楽部 （開催 2 回）

BIZCOLI 倶楽部は、教養を深める少人数セミナーとして平成 27 年度に開始した。令和元年度は、令和ゆかりの地である太宰府をテーマに開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
9月10日(火)	令和と万葉集、そして太宰府	奈良大学 教授 ████████ 氏	9人
1月21日(火)	太宰府学事始め	太宰府天満宮 権宮司 ████████ 氏	10人

⑥文化アートイベント（開催 1 回）

文化セミナーはアートと地域づくりに関するテーマで開催している。今回は「博多の仙厓さん」として武士や庶民に慕われた仙厓義梵をテーマに開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
9月12日(木)	仙厓さんの禅画で笑おう	福岡市美術館 館長 ████████ 氏	25人

⑦ビッグデータセミナー（開催1回、延期1回）

AIやビッグデータの活用を促進するため、情報提供のためのセミナーを開催しており、先進的な活用事例や、データストアとしてのクラウド基盤、BIツールなどを用いた可視化・活用技術など実践的な内容の情報提供を行なっている。令和元年度は、地理情報の活用をテーマに1回開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
7月18日(木)	地図による可視化と位置情報活用	■■■■ 研究主査	18人
2月25日(火) 【延期】	Twitterデータによる空間分析	■■■■ 研究員	—

4. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLIは、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用する人が集まる空間づくりに努めている。知の集積拠点としては、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。知の交流拠点としては、セミナーやイベントを開催して、人が集まり、知的刺激を受ける場を提供している。知の創造拠点としては、企業との共同展示を通じて、アイデアの創出や発想の転換を促進している。

また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供しており、企画書作成や自己研鑽の空間として活用されている。

（1）地域経済図書館としてのサービス

1) BIZCOLIの利用状況

令和元年度の利用者数は、年間ではじめて2万人の大台を超え、20,544人となった。前年度を2,083人上回り、対前年度比11%増となっている。知名度の向上やセミナー等の定期開催、広報にも努めたため、利用者数は着実に増加している。なお、年度末には、新型コロナウイルスの影響で、2月の利用者が大きく減少したものの、各種の安全対策に努め、安心してご利用いただけるとの信任を得たことと、リモートワーク推進の場としての活用が進んだことから、3月の利用者は対前年を上回った。

BIZCOLI利用者数

年度	利用者数	年度	利用者数
平成24年度	8,044人	平成28年度	16,984人
平成25年度	12,238人	平成29年度	16,743人
平成26年度	13,479人	平成30年度	18,461人
平成27年度	15,486人	令和元年度	20,544人

2) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、地域内のプロジェクト、企業の新製品・新サービス、話題のグッズなどを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。令和元年度は 27 件の行政や企業、団体等と連携して、常設展示、企画展示を行った。

①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光推進機構	写真、資料の提供
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
DRATION	ドローンの提供
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	「九州の未来力」関係資料
福岡市	県作成のパンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など

②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
田島山業(株)	同社PR映像の上映
日本航空(株)	エアバス A350 ファーストクラス・シート展示
(株)野村総合研究所	パネル「未来年表 2019-2100」の展示
(株)ヤッホーブルーイング	同社商品と経営セミナー資料、星野レポートの関連書籍の展示
国連 WFP 協会	レッドカップキャンペーン関連資料の展示 (SDG s)

(2) 講演会・セミナー会場の運営

BIZCOLI ではミーティングルームの提供を行っている。令和元年度は 232 件の利用があり、収益額は対前年比マイナス 8%の 202 万 3 千円だった。1 月までは順調に推移していたが、新型コロナウイルスの影響で 2 月と 3 月が伸び悩んだ。

(3) スキルアップのための個室空間の提供

BIZCOLI では、ビジネスに関する企画や自己研鑽のために更に集中できる空間として、マイデスクゾーン（個室）を提供している。令和元年度は、延べ 2,881 時間の利用があり、収益額は対前年度比 13%増の 28 万 8 千円だった。

5. 経済団体等支援事業

(1) 福岡経済同友会からの事務局受託

会員数 505名（3月末現在）

令和元年度の主な活動（福岡経済同友会／九州経済同友会）

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常総会、正副代表幹事会、常任幹事会、幹事会の開催 ・ 例会の開催 ・ 筑豊地域委員会での意見書の発表、提出 ・ 県立高等学校、市立中学校への出前講座の開催 ・ その他、11委員会において講演会、視察会等を開催 ・ 全国経済同友会への参加
九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表幹事会 ・ 企画委員会 ・ 会員合同懇談会 ・ 九州はひとつ委員会 ・ 九州地域戦略会議、同幹事会への参加 ・ 九州経済を考える懇談会 ・ 西日本経済同友会 代表者会議に参加

*上記を含む総会合数 146 回（うち共催・後援 25 回）。新型コロナウイルスによる中止 17 回

(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州を代表する経済団体のトップが、九州経済の現状・将来動向に関する重要課題について、認識の共有と課題解決の方向性について議論するものである。平成 22 年度に「地域経営を考える政策懇談会」として開始され、平成 25 年 1 月から現在の名称に変更した。（一社）九州経済連合会、（一財）九州地域産業活性化センター、（公財）九州経済調査協会の三者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネーターを務めている。令和元年度は次の通り 3 回開催した。

令和元年度の主な活動

No	日時・場所	討議テーマ	参加者
第 1 回	10 月 2 日 (水) 当会会議室	1) 九州における人口減少・少子化対策のあり方、提言実践としての「出会い場づくり」について 2) 「福岡空港の取組み」について	(一社)九州経済連合会 会長 ■■■氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 ■■■氏 九州商工会議所連合会 会長 ■■■氏 九州経済同友会 代表幹事 ■■■氏 九州経営者協会 会長 ■■■氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 ■■■氏 (コーディネーター)
第 2 回	1 月 30 日 (木)	1) 「九州プロモーションセンター in ハノイの設立」について	(一社)九州経済連合会 会長 ■■■氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 ■■■氏

	当会会議室	2) 「外国人労働者の受入れ状況と対策」について	九州商工会議所連合会 会長 ■■■■■ 氏 九州経済同友会 代表幹事 ■■■■■ 氏 九州経営者協会 会長 ■■■■■ 氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 ■■■■■ (コーディネーター)
第3回	3月6日 (金) 九経連 会議室	1) 「食産業の振興」について 2) 「30年後に向けた九州地域発展戦略」について	(一社)九州経済連合会 会長 ■■■■■ 氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 ■■■■■ 氏 九州商工会議所連合会 会長 ■■■■■ 氏 九州経済同友会 代表幹事 ■■■■■ 氏 九州経営者協会 会長 ■■■■■ 氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 ■■■■■ (コーディネーター)

(3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局

「地域政策デザイナー養成講座」(理事長：■■■■■ 九州大学 理事・副学長)は、地域の具体的な課題を把握し、国内外の情勢や近未来をとらえた広い視野で、地域像をデザイン、政策立案できる人材を「官」「民」を問わず育て、九州地域の発展に貢献することを目的に、平成22年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(株)西日本新聞社、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

令和元年度は61名(受講生35名、聴講生26名)が受講した。9月末までに11回の授業を実施し、11月には研究発表会を開催した。

令和元年度 地域政策デザイナー養成講座 講師一覧

氏名(敬称略)	所 属
安浦 寛人	九州大学 理事・副学長
石丸 修平	福岡地域戦略推進協議会 事務局長/九州大学 客員准教授
村岡 浩司	(株)一平ホールディングス 代表取締役社長
星野 幸代	国際連合人間居住計画(ハビタット)福岡本部 本部長補佐官
原口 悠	特定非営利活動法人ドットファイブトーキョー 代表理事
木藤 亮太	(株)油津応援団 専務取締役/(株)ホーホウ 代表取締役
天野 宏欣	Local Knowledge Platform 合同会社 代表社員
麻生 泰	(一社)九州経済連合会 会長

6. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を行った。なお、外部主催の講演会への講師派遣、セミナー等への参加・企画協力については、巻末に掲載している。

対外活動実績（令和元年度）

区 分	内 容	件数等
（１）行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣	<p>【行政】</p> 九州経済産業局、九州管区行政評価局、福岡県、福岡県立図書館、長崎県、熊本県、北九州市、福岡市、久留米市、行橋市、糸島市	就任件数 計 26 件
	<p>【団体】</p> （一財）九州産業技術センター、（公財）福岡アジア都市研究所、（公財）日本生産性本部、（独法）経済産業研究所、九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)、（公財）福岡県リサイクル総合研究事業化センター、（公財）福岡県産業・科学技術振興財団、（公財）経営者顕彰財団、福岡アジア高齢社会デザイン協議会、九州版炭素マイレージ制度推進協議会	
（２）大学への非常勤講師の派遣	福岡大学、九州産業大学、西南学院大学 ＊ 1 コマの派遣は含まず	計 3 大学 3 講座
（３）テレビ・ラジオ等への出演	NHK 福岡「ロクいち！福岡」、NHK 熊本、KBC「シリタカ!」、RKB「今日感テレビ」、FBS「めんたい Plus」、TNC「ももち浜ストア」、「ももち浜 S 特報ライブ」、「CUBE」、TVQ「ぐっ！ジョブ」、「ふくおかサテライト」、南海放送（愛媛県）	延 34 回
（４）新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	西日本新聞、日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、大分合同新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、建設通信新聞、鹿児島建設新聞、琉球新報、沖縄八重山日報、八重山毎日新聞、糸島新聞、日本食糧新聞、日本経済新聞電子版ニュース、日刊建設工業新聞、商業施設新聞、日本海事新聞、電子デバイス産業新聞、ビジネスレイバートレンド、週刊金融財政事情、フクリパ、ニッキン、日経 MJ、ディスクロージャー	延 202 件

7. 運営基盤の拡充

（１）会員数の増加

①賛助会員

BIZCOLI や研究成果の活用、講演会、講師派遣、研究員のネットワークなどを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めている。令和元年度の入会は前年度 38 件を下回る 30 件であった。また、退会は 33 件となり、期首 593 会員から 3 会員純減して 590 会員となった。1 月末から年度末にかけて、新型コロナウイルスの影響で、新規の入会交渉と、退会申出企業に対する継続交渉を行いにくい状況になったことが響いた。

なお、会員数は減少したものの、普通会员から維持会員への変更等により、会費実勢額は前年度を上回る 1 億 2,796 万円となった。

賛助会員の動向

	合 計				
	維持会員	普通会員	個人会員	町村会員	
令和元年度期首	593	74	499	18	2
入 会	30	0	30	0	0
退 会	33	0	32	1	0
増 減	-3	0	-2	-1	0
会員種別変更	1	1	-1	0	0
令和元年度末	590	75	496	17	2

- ・平成 27 年度末 会員数 576 会員 ・会費実勢額 1 億 2,648 万円
- ・平成 28 年度末 会員数 574 会員 ・会費実勢額 1 億 2,574 万円
- ・平成 29 年度末 会員数 581 会員 ・会費実勢額 1 億 2,625 万円
- ・平成 30 年度末 会員数 593 会員 ・会費実勢額 1 億 2,791 万円
- ・令和元年度末 会員数 590 会員 ・会費実勢額 1 億 2,796 万円

②BIZCOLI 会員

令和元年度は、期首 99 会員から 2 会員純増して 101 会員となった。会費実勢額（月会費×12 カ月）は、令和元年度末で 754 万円となった。

BIZCOLI 会員の内訳（101 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	4	フルタイム+土曜日	5
デイトタイム	13	デイトタイム+土曜日	2
ナイトタイム	51	ナイトタイム+土曜日	16
土曜日	10	合 計	101

（2）理事会、評議員会、幹事会、企画委員会、参与会の開催

公益財団法人に移行して 7 年目を迎え、理事会、評議員会の決議の下、適正な組織運営を行っている。また、幹事会や参与会を定例化して、公益財団としての組織力を強化している。

令和元年度は理事会を 6 回、評議員会を 3 回開催した他、幹事会を 2 回、企画委員会を 1 回開催した。幹事会提案による自主研究報告会「Society5.0 による地方創生～社会課題の解決を目指す九州企業」を 7 月に開催した。参与会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期とした。

①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議 案 等
5 月 15 日 (水)	第 31 回理事会	【決議事項】 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 平成 30 年度決算（案）について 第 3 号議案 幹事の選任について 第 4 号議案 参与の委嘱について

		第5号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第2項 その他
5月31日 (金)	第32回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 代表理事・会長の選定について 第2号議案 代表理事・理事長の選定について 第3号議案 業務執行理事の選定について 第4号議案 役員報酬について 第5号議案 幹事の選任について
7月22日 (月)	第33回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 幹事の選任について 第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 助成先の決定について
10月18日 (金)	第34回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和元年度更正予算(案)について 第2号議案 幹事の選任について 第3号議案 参与の委嘱について 第4号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 令和元年度上期事業報告について 第2項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第3項 幹事会の開催について 第4項 企画委員会の開催について 第5項 その他
1月24日 (金)	第35回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 参与の委嘱について
3月2日 (月)	第36回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和2年度事業計画(案)について 第2号議案 令和2年度予算(案)について 第3号議案 内閣府への定期提出書類について 第4号議案 顧問、参与の委嘱について 第5号議案 評議員会の招集について 第6号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業顕彰作品の選定について 【報告事項】 第1項 創立70周年記念事業の進捗について 第2項 その他

②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議案等
5月31日 (金)	第22回評議員会	【決議事項】 第1号議案 平成30年度事業報告(案)について 第2号議案 平成30年度決算(案)について 第3号議案 評議員の選任について 第4号議案 評議員会議長の選任について 第5号議案 理事の選任について 【報告事項】 第1項 その他
11月11日 (月)	第23回評議員会	【報告事項】 第1項 令和元年度上期事業報告について

		第2項 令和元年度更正予算について 第3項 幹事の選任について 第4項 参与の委嘱について 第5項 幹事会の開催について 第6項 企画委員会の開催について 第7項 その他
3月17日 (火)	第24回評議員会 (書面)	【報告事項】 第1項 令和2年度事業計画について 第2項 令和2年度予算について 第3項 顧問、参与の委嘱について 第4項 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品の選定について 第5項 創立70周年記念事業の進捗について 第6項 その他

③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議案等
6月21日 (金)	第10回幹事会 (書面)	1 幹事会議長、副議長の選任について
2月13日 (木)	第11回幹事会	1 新幹事の紹介 2 令和元年度幹事会からの提案による自主研究の中間報告 3 令和2年度幹事会からの提案による自主研究のテーマ選定 4 その他

④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議案等
12月13日 (金)	企画委員会	1 令和元年度自主研究の中間報告 2 令和2年度自主研究について 3 その他

⑤参与会の開催状況

開催日	開催参与会	議案等
3月4日 (水) 【延期】	第10回参与会	1 2020年版九州経済白書について 2 その他

(3) 人材育成の強化

当会では、研究員の資質向上に取り組み、専門分野に偏らない、新しい分野への知見の蓄積を進めている。また、国内・海外を問わず外部との交流を積極的に行うことで、各研究員がネットワークを広げることを重視している。

令和元年度は、前年度に続いて新卒社員を採用したことから、若手研究員の育成に力を入れた。(株)日本経済研究所主催の地域シンクタンク研修等への参加や、産業技術に関する知見の涵養、人脈構築、中国事情の情報収集のため、中国で開催された第18回環黄海経済・技術交流会議へ派遣した。

(参考)

1. 外部主催の講演会への講師派遣（計 58 件）

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。その手段の一つとして、会員をはじめとする外部からの依頼に応え、当会から講師を派遣した。

講師派遣一覧

月 日	依頼先	会合名・タイトル等	講演者	参加者数
4月16日 (火)	(株)サワライズ	社内研修会「九州の経済動向及び福岡市情勢について」	研究主査	15人
4月17日 (水)	一八会・さかえ会	一八会・さかえ会「今後の日本・九州経済」	研究主査	40人
4月18日 (木)	三菱電機(株)九州支社	経営方針説明会「九州経済の短・中期見通し」	研究主査	65人
4月18日 (木)	(一社)太陽光発電協会	公共産業部会「九州における太陽光発電所O&Mとセカンダリマーケットの関係」	次長	80人
5月10日 (金)	(公社)日本証券アナリスト協会	日本証券アナリスト協会 例会	部長	20人
5月14日 (火)	九州電力(株)東京支社	九州経済講演会「スポーツの成長産業化と九州経済」	次長	55人
5月20日 (月)	(公財)福岡観光コンベンションビューロー	在日フランス商工会議所フランス・福岡(九州)経済フォーラム	次長	80人
5月23日 (木)	北海道新幹線建設促進期成会	第4回北海道新幹線札幌開業を見据えた研究会「人口減少下での新幹線開業とまちづくり・地域交通」	次長	30人
5月29日 (水)	福岡ロータリークラブ	福岡ロータリークラブ例会「スポーツの成長産業化と九州経済」	次長	90人
5月31日 (金)	福岡県高等学校地理研究会	福岡県高等学校地理研究会 福岡地区総会	研究員	22人
6月20日 (木)	地方シンクタンク協議会	九州地区交流会「地方創生とEBPMに寄与するビッグデータ時代の新たな情報サービスづくりへの挑戦」	部長	13人
6月22日 (土)	日本観光研究学会	九州・韓国南部支部 研究会「九州における訪日外国人の消費動向調査」/「欧米豪をターゲットとした九州観光関心度等の基礎調査」	主任研究員、 研究員	30人
7月4日 (木)	福岡市	日本海側航路シンポジウム in 福岡「博多・敦賀航路のPR」	部長	250人
7月13日 (土)	長崎大学工学研究院	社会人向け先端IT特別講座「ビッグデータ活用ビジネスと九経調-長崎大学共同研究の内容」	部長	50人
7月13日 (土)	九州女子大学	図書館司書希望者へのBIZCOLI案内	部長	24人
7月24日 (水)	三井物産アグロビジネス(株)	第28回九州三井アグロ会講演会 二部「九州スマート農業の未来」	主任研究員	50人
7月24日 (水)	(株)福岡リアルティ	福岡市の商業、インバウンド、ホテルを取り巻く環境について	部長	60人
7月25日 (木)	福岡県	九州・山口各県合同職員研修会「地域課題解決に向けたIoT技術の活用について～IoTによるビジネス展開と地域活性化～」	部長	50人
7月26日 (金)	北恵(株)	キタケイビルダーズフェア「地方中核都市の創生と再構築」	部長	100人
7月31日 (水)	(一社)九州経済連合会	東九州軸推進機構第29回総会「道を生かす～九州の道路ストック活用調査～」	次長	170人
8月3日	長崎県佐々町	BIZCOLI視察「人がつながる、アイデアが生まれ	部長	12人

(土)		る会員制ライブラリー-BIZCOLIの挑戦		
8月7日 (水)	福岡県	九州地域戦略会議第16回夏季セミナー第1分科会「新たな外国人材の受入れに係る現状と課題」	■■■次長	40人
8月8日 (木)	九州大学学術研究都市推進機構	伊都キャンパス農場フォーラム「オンキャンパス農場と地域社会との連携を考える」	■■■部長	270人
8月8日 (木)	NECソリューションイノベータ㈱	共創推進 Day アイデアソン「九州経済の現状と課題」	■■■部長	60人
8月24日 (土)	日本経営診断学会九州部会	日本経営診断学会九州部会「九州地域における外国人労働者の動向」	■■■次長	15人
9月12日 (木)	エア・ウォーター・マテリアル㈱	インテグリス製品勉強会「九州の景気と半導体関連の動向」	■■■研究主査	23人
9月18日 (水)	九州地方整備局	福岡都市圏の未来の交通インフラを考えるシンポジウム	■■■部長	581人
9月25日 (水)	九州経済産業局	九州地域再生可能エネルギー連絡会議「求められる太陽光発電所のO&Mとセカンダリマーケットの成熟」	■■■次長	50人
10月15日 (火)	全九州リネンサプライ協議会	勉強会	■■■研究主査	80人
10月18日 (金)	福岡東南ロータリークラブ	福岡東南ロータリークラブ例会「スポーツの成長産業化と九州経済」	■■■次長	50人
10月21日 (月)	福岡大学	ベンチャー企業論	■■■次長	50人
11月7日 (木)	九州運輸局	地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム in 九州	■■■次長	200人
11月12日 (火)	福岡県、九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター	データ分析・活用による政策立案(EBPM)推進事業「人口減少社会を迎える2040年の九州を考える」	■■■部長	100人
11月14日 (木)	専門図書館協議会	図書館総合展「あなたも使える専門図書館～BIZCOLI」	■■■次長	90人
11月16日 (土)	九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会	九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会研修会	■■■部長	270人
11月21日 (木)	九州ビルディング協会	九州ビルディング協会 11月例会	■■■研究主査	50人
11月21日 (木)	福岡県みやこ町	みやこ町企業連絡協議会「Society5.0による地方創生」	■■■次長	30人
11月22日 (金)	(公財)福岡アジア都市研究所	URC都市セミナー「都市のアップデート戦略～クリエイティブな都市へ向けて」	■■■部長	99人
11月26日 (火)	三菱電機㈱九州支社	三菱電機グループセミナー2019in長崎 感謝の集い	■■■研究主査	60人
11月29日 (金)	北九州市立大学	環境都市論	■■■主任研究員	80人
12月3日 (火)	気象庁	気象ビジネスコンソーシアム	■■■主任研究員	60人
12月5日 (木)	(一社)九州経済連合会	第1回資源エネルギー・環境委員会	■■■次長	68人
12月11日 (水)	(公財)長崎県産業振興財団	第128回エコ塾in長崎 脱炭素社会実現に向けた環境エネルギービジネスと九州の未来	■■■次長	80人
12月26日 (木)	(一社)九州経済連合会	事務局員勉強会	■■■研究主査	50人
1月20日 (月)	九州地方整備局	国土と地域の将来像に関する有識者セミナー	■■■部長	40人
1月20日 (月)	㈱福岡銀行	九州の経済動向について	■■■部長	50人
1月21日 (火)	福岡県警察本部	地方IoTビジネス創出事業 福岡県IoT推進ラボ「30年後に向けた九州地域発展戦略」	■■■部長	85人
1月22日	福岡ロータリークラブ	直近の経済動向と2020年度九州経済見通し	■■■部長	100人

(水)				人
1月23日 (木)	嘉麻福友会	セミナー・新年会「2020年度九州経済の見通し」	■■■■研究主査	25人
1月27日 (月)	福岡銀行/西鉄/西日本新聞	朝ラボ「30年後に向けた九州地域発展戦略」	■■■■部長	14人
1月29日 (水)	(一社)九州経済連合会	女性の会「30年後に向けた九州地域発展戦略」	■■■■部長	10人
1月29日 (水)	専修大学	研究会「九州経済の概況について」	■■■■主任研究員	15人
1月31日 (金)	九州各県議会議長会(大分県議会議務局)	九州各県議会議員交流セミナー「スポーツの成長産業化と九州創生」	■■■■次長	150人
2月6日 (木)	(株)福岡リアルティ	福岡・九州経済における韓国人観光客減少の影響	■■■■部長	60人
2月6日 (木)	伊万里市	アジアとともに成長する九州の経済と産業	■■■■部長	50人
2月12日 (水)	東京大学地域未来社会連携研究機構	九州地域経済分析プラットフォーム(DATASALAD)による地方創生への挑戦	■■■■部長	60人
2月12日 (水)	(株)佐賀銀行	2020年度九州経済見通し	■■■■主任研究員	50人
2月21日 (金)	(株)九州経済研究所	K-Biz セミナー「30年後に向けた九州地域発展戦略」	■■■■部長	8人

2. セミナー等への参加・企画協力(計9件)

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLIの会議室提供などで協力した。

協力実績

日程・場所	主催者	会合名	備考
4月6日(土) 電気ビル共創館	国連経済社会理事会特別諮問非政府機関 アライアンス・フォーラム財団	■■■■氏提唱・公益資本主義についての勉強会	後援
6月1日(土) ～3月14日(土)	SDGs Design International Awards 2019	九州大学大学院芸術工学研究院 SDGs デザインユニット、九州大学未来デザイン学センター	後援
6月2日(日) The Company 中洲川端	福岡地域戦略推進協議会 (株)chaintope	地方創生トークンサミット 2019	後援
6月17日(月) TKP ガーデンシティ天神	(一社)九州ニュービジネス協議会	第143回ベンチャープラザ二月会	後援
8月1日(木) 福岡アジア美術館	(公財)福岡アジア都市研究所	変貌する中国の大都市～上海市・広州市の最新情報を中心にレポート～	後援
8月7日(水) 福岡サンパレス	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)	ふくおか CASE カーエレ開発アライアンス発足記念講演会	後援
8月8日(木) 九州大学伊都キャンパス	九州大学大学院農学研究院、アグリコロボいとしま、(公財)九州大学学術研究都市推進機構	伊都キャンパス農場フォーラム～地域・アジアに開かれた未来志向のオンキャンパス農場を共創する	後援
10月31日(木) アクロス福岡	九州経済産業局	九州SDGs経営推進セミナー～SDGsを原動力とした企業経営・自治体経営～	運営支援
1月21日(火) 北九州国際会議場 1月22日(水) 安川電機本社	九州経済産業局、北九州市、(公財)北九州産業学術推進機構、(一社)日本ロボット工業会 FA・ロボットシステムインテグレーション協会、(株)安川電機	ロボット活用・導入実践フォーラム「九州SIerDAYS」	後援

令和 2 年度事業報告

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)



公益財団法人九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

令和2年度事業報告について

事業報告

定款第5条に基づき、令和2年度は、以下の事業を実施した。(総括)

1. 地域経済研究事業 (1) 自主研究事業 ①九州経済白書の刊行 ②月報等定期刊行物の発行 (2) 受託研究事業 (3) 九経調地域研究助成事業	③幹事会からの提案による自主研究 ④地域経済情報のデジタル配信	⑤その他の事業
2. 講演会・セミナー事業 (1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等 ①九州経済白書説明会 ②「30年後に向けた九州地域発展戦略」説明会・勉強会 (2) 定例の講演会・セミナー ①九経調交流会 ②研究報告会 (3) BIZCOLIでのセミナー・イベント ①イブニングセミナー ②地域経営セミナー ③共催セミナー	③アジア経済講演会 ④調査技法セミナー ④九州国立博物館応援セミナー ⑤サイエンス・カフェ ⑥BIZCOLI倶楽部	⑤経済講演会 ⑦文化アートイベント ⑧ビッグデータセミナー
3. 経済図書館(BIZCOLI)事業 (1) 地域経済図書館としてのサービス (2) 講演会・セミナー会場の運営 (3) スキルアップのための個室空間の提供		
4. 経済団体等支援事業 (1) 福岡経済同友会の事務局 (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局 (3) 地域政策デザインスクールの事務局 (4) 九州地域ソーシャルビジネス・コンソーシアム事務局		
5. 社会貢献活動等 (1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 (2) 大学への非常勤講師の派遣 (3) テレビ・ラジオ等への出演 (4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載 (5) インターンシップの受入等		
6. 会務運営 (1) 理事会、評議員会、幹事会、企画委員会、参与会の開催 (2) 財務経理、人事労務 (3) 会員維持・拡大		

1. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」を中心に取り組んだ。

①九州経済白書の刊行

「九州経済白書」は昭和42年(1967年)に刊行されて以来、その年の経済・社会情勢を踏まえて、毎年テーマを変えながら調査・研究を行っている。令和2年度は「コロナショックと九州経済」をテーマとし、コロナ禍におけるDX(デジタル技術によるビジネス変革)への取組み、分散型社会の到来を示唆する事例などを取りまとめた。白書刊行後、九州・沖縄・山口10会場にて、WEBを通じて説明会を開催した。

②月報等定期刊行物の発行

1) 九州経済調査月報

「九州経済調査月報」は九州・沖縄・山口の経済動向を見据えながら、毎月テーマを設定して刊行している。令和2年度は、新型コロナウイルスの九州経済への影響をタイムリーに伝えるべく、5月号で緊急特集を組み、7月号で九州経済見通しの改訂を前倒しで行った。コロナの動向を踏まえた2021年度の九州経済見通しを12月に公表し、2月号に詳細レポートを掲載した。3月号では、九州新幹線全線開業10年を節目とする特集を、(公財)地方経済総合研究所(熊本市)、(株)九州経済研究所(鹿児島市)と共同で実施した。

また、令和2年度より幹事会提案による自主研究テーマを月報に反映し、「九州の次世代産業」を9月号と10月号に、「感染症・自然災害に対応した九州の地域づくり」を12月号に掲載した。

発行日	内 容	
5月号 4月30日 (木) 発行	特 集 (Report)	新型コロナウイルス感染拡大による九州経済への影響 新型コロナウイルス感染拡大による九州経済への影響 都道府県CI、予測CIからみた新型コロナウイルスの影響 新型コロナウイルスによる九州の生産・投資への影響 新型コロナウイルスによる九州の個人消費・雇用への影響 新型コロナウイルスによる九州の宿泊施設への影響 (One point) 新たな局面に入った外国人労働者数の動向 2020年3月のDATASALAD 日次宿泊稼働指数
6月号 6月1日 (月) 発行	特 集 (Report)	九州の地域研究 2019年度 九経調地域研究助成・顕彰事業 多様な個性を活かす職場づくりを目指した新たな価値創造 ~発達障害の視点を通して働き方を相乗共創する~ 超高齢社会における公益目的の信託運用組織のあり方について (One point) 2020年4月のDATASALAD 宿泊稼働指数~コロナ禍で過去最大の下落 (連載) 価値創造の源流 (51) 榎成美

7月号 7月2日 (木) 発行	特集 (Report) 文化資源と都市・地域の魅力 文化資源と都市・地域の魅力 創造産業政策のあり方と創造都市の可能性~福岡市を事例として サブプレイスとしてのスペシャルティコーヒー店の取り組み 九州の伝統工芸の新たな展開 2020年度九州経済の見通し(緊急改訂) 新型コロナウイルス感染拡大の影響から過去最大の落ち込み (One point) 2020年6月の予測 CI~新型コロナウイルス感染拡大により大幅悪化 2020年度のインバウンド機会損失は4,755億円 ~2020年5月の宿泊稼働指数およびインバウンド機会損失額の試算
8月号 8月3日 (月) 発行	特集 (Report) 九州企業のSDGs経営 九州企業のSDGs経営 「九州SDGs経営推進フォーラム」について ~地域企業の持続的な企業価値向上と九州地域の持続的な発展を目指して~ 九州企業のSDGsへの対応~SDGsを経営に取り組み企業を事例に 島嶼SDGs (One point) 2020年6月のDATASALAD 有効求人件数 ~新型コロナウイルスによる減少は下げ止まりへ (連載) アグリプレナーの実践(23) 鹿児島堀口製茶術
9月号 9月2日 (水) 発行	特集 (Report) 九州の次世代産業(上) 九州の次世代産業(上) スマートものづくり産業 スマートシティ産業 2020年版中小企業白書・小規模企業白書の概要 令和2年7月豪雨による九州の社会・経済への影響 ①住宅ストックの被害額推計 ②浸水地域の人口・事業所数等の推計 (One point) 2020年7月のDATASALAD 宿泊稼働指数~地方圏で改善傾向続く
10月号 10月2日 (金) 発行	特集 (Report) 九州の次世代産業(下) 九州の次世代産業(下) ファインマテリアル産業 機能性フードビジネス産業 ビッグデータ産業 令和2年7月豪雨による九州の社会・経済への影響 ③民間資本ストックの被害額、売上減少額の推計 ④スマートフォン位置情報から 見た2ヵ月経過後の避難実態 (One point) 主要観光地、ビジネス旅行地域の宿泊稼働状況
11月号 11月2日 (月) 発行	特集 (Report) 新国富指標を用いた持続可能な地域づくり 新国富指標を用いた持続可能な地域づくり 新国富指標:持続可能な地域づくりのために 新国富指標を活用した持続可能なまちづくりに関する取り組みについて 産学官の連携:地域で富をいかに増すのか (One point) 2020年9月のDATASALAD 宿泊稼働指数 ~地方圏を中心に回復続く。4連休時の指数はコロナ禍後最高に
12月号 12月4日 (金) 発行	特集 (Report) 感染症・自然災害に対応した九州の地域づくり 感染症・自然災害に対応した九州の地域づくり 新型コロナウイルス感染症と新たな国土形成 コロナを契機とした東京圏企業の地方立地の可能性 ~新型コロナ感染拡大が企業活動に及ぼした影響に関するアンケート結果 九州における自然災害・複合災害への備え

		<p>～今は九州受難の時代の始まりなのか～</p> <p>(One point) 2020年10月のDATASALAD 宿泊稼働指数 ～関東・東北の改善顕著。6県では前年超え</p>
1月号 1月4日 (月) 発行	<p>特集 九州の新たな1年 (Report) 九州の新たな1年 with コロナでの新たな観光地の取り組み 観光業から観光産業へ～人口6万人の町に生まれた古民家再生ホテルの挑戦 熊本地震、コロナ禍を経た阿蘇の観光のこれから ～ファンづくり、商品づくり、人づくりの視点から～ with コロナ時代の観光地における新しい切り口 ～ワーケーションの聖地・壱岐を目指す～ 日本・九州の未来を拓く～持続的発展に求められるビジョンと戦略</p> <p>(One point) 2020年11月のDATASALAD 有効求人件数 ～45都道府県で増加も、勢いは減退</p> <p>(連載) 価値創造の源流 (52) KAICO(株)</p>	
2月号 2月1日 (月) 発行	<p>特集 東九州の広域交流インフラの未来 (Report) 東九州の広域交流インフラの未来 東九州新幹線の実現に向けた取り組みと課題 豊予海峡ルートの実現に向けて～大分市が取り組む調査結果の概要 豊予海峡みらいづくりシンポジウム～新たな国土軸の構築に向けた交流圏域の形成～ 2021年度九州経済見通し～製造業主導による回復で、全国を上回る成長に</p>	
3月号 3月2日 (火) 発行	<p>特集 九州新幹線全線開業10年の効果と影響 (Report) 九州新幹線全線開業10年の効果と影響 「絶えざる最適化」どう追及・「巨大な条件変更」としての新幹線開業 九州新幹線全線開業10年での旅客流動と交通体系の変化 九州新幹線全線開業が企業活動に与えた影響 アジアの人・モノ・データの結節点 OKINAWA</p> <p>(連載) 価値創造の源流 (53) ㈱コマンドディー</p>	
4月号 4月1日 (木) 発行	<p>特集 地方都市での創業・仕事づくり (Report) 地方都市での創業・仕事づくり 地方創生下における九州地域の人口移動と就労機会 秘密基地と地方創生 奄美大島・奄美市に見る地方移住と仕事づくり</p> <p>(One point) 2021年2月のDATASALAD 宿泊稼働指数 ～季節要因により改善も、勢いを欠く</p>	

2) 2021年版 図説九州経済 (令和2年10月20日刊行)

「図説九州経済」は九州地域経済の概要を図表や地図情報、データで解説する資料として、毎年度1回刊行している。2021年版は、これまで統計編に掲載していた各種データを後述の九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」へ移行し、英語表記の充実、地図情報などを追加した。

3) メールマガジン (九経調ニュースレター)

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月1～2回配信した他、当会主催・共催のセミナーや、刊行物等の案内を配信した。

メールマガジン配信件数 99件 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

③幹事会からの提案による自主研究

令和2年度は、「次世代産業」と「災害に強いまちづくり」の2つのテーマに関して調査研究を実施した。九州経済調査月報と連動させ、9月号と10月号で「次世代産業」、12月号で「感染症・自然災害に対応した九州の地域づくり」の特集を組み、当会主催のセミナーにて成果報告を行った。

次世代産業	9月号	「九州の次世代産業（上）」 ・スマートものづくり産業 ・スマートシティ産業
	10月号	「九州の次世代産業（下）」 ・機能性フードビジネス ・ファインマテリアル ・ビッグデータ産業
災害に強いまちづくり	12月号	「感染症・自然災害に対応した九州の地域づくり」 ・新型コロナウイルス感染症と新たな国土形成 ・コロナを契機とした東京圏企業の地方立地の可能性 ・新型コロナウイルス感染拡大による九州企業のリスク管理への影響 ・九州における自然災害・複合災害への備え

④地域経済情報のデジタル配信

創立70周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」等を活用し、九州経済調査月報、図説九州経済を始めとする地域経済情報のデジタル配信を進めた。

・九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」

4月より本運用を開始し、利用者の増加に向けた周知活動を行った。その結果、令和3年3月末のWEB会員登録者数は16,838名となった。宿泊稼働指数や日次有効求人数は内閣府の月例経済報告（閣僚会議資料）に引用されるなど、世間の関心の高いコンテンツを開発した。また、感染者数や人流変化など新型コロナウイルスに関するデータのほか、図説九州経済に掲載していたデータ・情報を逐次追加し、コンテンツの充実に取り組んだ。

・宿泊施設向けレベニューマネジメント支援システム

長崎大学、早稲田大学と共同で宿泊商品の完売確率およびキャンセル発生確率を予測するシステムを開発した。4月からサービスの提供開始を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により宿泊商品の需給環境が激変したため、過去のデータに基づく予測精度が大幅に低下することとなり、サービス開始を延期した。

⑤その他の事業

毎年、地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部等との意見交換会などを行っている。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により殆どの事業が中止または延期となった。

A. 国内研究会の開催、参加

1) 九州・山口地方銀行調査担当部長会議

昭和 42 年度より毎年 2 回、九州・沖縄・山口の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っている。令和 2 年度は、新型コロナウイルスのために延期となった。

【加盟機関】

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(公財) 地方経済総合研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)ちくぎん地域経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(株)おきぎん経済研究所
(株)佐賀銀行総合企画部	(一財) みやぎん経済研究所	(一財) 山口経済研究所
(株)長崎経済研究所	(株)九州経済研究所	(公財) 九州経済調査協会

2) 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟している。令和 2 年度は、新型コロナウイルスのために九州・沖縄ブロックの研究会は中止となった。

【九州・沖縄ブロック加盟機関】

(公財)福岡アジア都市研究所	(株)よかネット	(株)ちくぎん地域経済研究所
(公財)九州経済調査協会		

B. 国際会議の開催、参加

国際会議は新型コロナウイルスのために中止または延期となった。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
中止	釜山-福岡の交流拡大に向けたシンポジウム	-	-	-
延期	第 15 回福岡・釜山フォーラム釜山会議 2020 (福岡市)	-	-	-

C. 東京大学地域未来社会連携研究機構との連携事業

地域経済社会の発展に寄与することを目的に、平成 30 年 4 月 1 日、東京大学地域未来社会連携研究機構と連携協定を締結した。①シンポジウムやワークショップ、共同研究等を通じた地域研究の推進、②地域の課題に応えるプロフェッショナル人材の育成・交流、③「地域未来投資促進法」等の国や自治体の各種事業との連携と、3 つの連携事業を行うこととしている。令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響のため、会合等への参加はできなかったものの、データサラダの活用や共同研究の企画等で連携を進めた。

(2) 受託研究事業

令和2年度は、49本の調査研究プロジェクトに取り組んだ。新規分野の獲得を目指した結果、環境基本計画策定業務やDX（デジタルトランスフォーメーション）関連調査の獲得に成功したほか、ポストコロナを見据えた課題克服のための調査も受託した。また、SDGsやカーボンニュートラルに貢献する洋上風力など、世界的に関心の高いテーマの調査研究を進めた。

【分野別受託研究一覧】

(統計作成・分析)		
1	小売販売額・入込客数調査業務委託	熊本市
2	中小企業の動向分析業務	福岡県
3	景気ウォッチャー調査（九州地域）	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) (内閣府)
4	地域別支出総合指数(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
5	「北九州貿易統計」作成および特徴抽出・要因分析記述業務	(公社)北九州貿易協会
6	令和2年度熊本県観光統計調査業務	熊本県
(地方創生)		
7	出水市地域経済構造分析調査業務	(株)九州経済研究所（出水市）
8	SDGsを踏まえた地域課題解決型事業	(一財)九州オープンイノベーションセンター
9	令和2年度九州における地域課題・社会課題の解決に向けた持続的なSDGs貢献ビジネスマッチング事業	九州経済産業局
10	富士町・三瀬村における産業構造分析業務	佐賀市
11	行橋市今川PA交流拠点整備支援業務（経済分析等）委託	行橋市
12	次世代に平和をつなぐ拠点施設を核とした町の誘客事業運営支援業務	錦町
(地域振興)		
13	北九州市風力発電関連産業の総合拠点形成に係る経済波及効果調査委託業務	北九州市
14	令和2年度九州地域における次世代モビリティ事業化に向けた調査および事業プラン策定事業	九州経済産業局
(産業振興)		
① 産業全般		
15	令和2年度九州地域ものづくり中小企業事業化支援事業（ミニマルファブ等の事業化に向けた市場ニーズ調査及び販路開拓等支援事業）	九州経済産業局
② 環境・資源エネルギー		
16	バイオマス事業の推進に伴う経済効果調査業務	佐賀市
17	福岡県太陽光発電(PV)保守・リサイクル推進協議会運営経費シミュレーション業務	(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター
18	プラスチック再資源化促進の実現可能性に関する調査	(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター
③ 観光		
19	ウィズコロナ・ポストコロナにおける福岡市内宿泊業界の動向分析業務委託	福岡市
20	新たな旅行スタイルに対応した少人数型平和教育プログラム開発事業	錦町（観光庁）

④ 農林水産・食料品		
21	海洋深層水を活用した各種事業の市場概況調査業務	㈱ゼネシス（沖縄県久米島町）
22	食品の賞味期限に係るヒアリング調査業務	㈱北海道二十一世紀総合研究所
23	バリューチェーン高度化検討事業	（一社）九州経済連合会
⑤ 医療・福祉		
24	令和2年度福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市
25	大牟田市地域医療・介護連携ビジョン推進支援業務	大牟田市
26	福岡県ジェネリック医薬品患者啓発資材作成等業務	福岡県
⑥ 新産業・新技術		
27	九大学研都市中期経営計画策定業務	（公財）九州大学学術研究都市推進機構
28	「新しい生活様式」対応事業共創支援業務	（一財）九州オープンイノベーションセンター
29	令和2年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金（地域中小企業知的財産支援力強化事業）	九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会
30	九州の宇宙産業振興に向けた検討会運営業務	（公財）大分県産業創造機構（九州経済産業局）
31	ものづくり中小・中堅企業の生産性向上（DX実現）に向けたSIer企業参入促進のための競争環境整備調査に係る役務請負	九州経済産業局
（社会資本）		
32	地域の輸送資源の活用方法に関する調査業務	九州運輸局
33	祝祭の広場に係る効果検証業務	大分市
34	令和2年度九州地域の港湾整備に関連する企業の投資動向調査	九州地方整備局
35	北九州港港湾計画に係る動向調査業務委託	北九州市
36	立神広場管理運営 官民連携の可能性検討業務	㈱彩工房
（雇用・人材育成等）		
37	運輸業調査（女性活躍推進加速化事業）業務委託	福岡県女性活躍推進室
38	ネクストリーダー等の人材育成事業	（一財）九州オープンイノベーションセンター
39	「青少年の健全育成に関する県民意識等調査」業務委託	福岡県
（アジア戦略）		
40	食品製造業の海外企業との連携による生産体制構築に係るヒアリング調査業務	㈱北海道二十一世紀総合研究所
（行財政）		
41	第6次直方市総合計画に係る策定支援業務委託	直方市
42	第3次飯塚市環境基本計画策定支援業務	飯塚市
43	飯塚市民意識調査業務委託	飯塚市
（その他）		
44	「社会起業家の活躍による社会・地域課題の解決」に関する調査	（公財）東北活性化研究センター
45	政策金融評価に係る調査・分析等の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
（シンポジウム等）		
46	九州経済を考える懇談会の実施	（一財）九州オープンイノベーションセンター
47	外部向け講座の開催における運営補助の業務	（独）国立高等専門学校機構
48	気象ビジネス推進に係るオンライン講習会運営業務委託	福岡管区气象台
49	地域政策デザインスクール支援事業	地域政策デザインスクール実行委員会

(3) 九経調地域研究助成事業

九経調地域研究助成事業は、九州の地域浮揚のためのアイデアや人材を発掘するために、平成26年度から実施している。令和2年度は4月7日～5月29日の応募期間に14本の申請があり、6月22日に書面開催した「九経調地域研究助成委員会」で3本の助成先候補を選定後、7月31日の書面理事会にて助成先を決定した。なお、令和元年度の最優秀賞と優秀論文を九州経済調査月報6月号に掲載した。

助成先の審査結果 (10万円助成/本)

	テーマ	申請者・研究代表者
1	地方の貧困に挑むフードバンクの取り組みとその効果-SDGsを用いた評価基準生成の実践-	九州保健福祉大学/NPO 法人 フードバンク日向
2	オンキャンパス型インターンシップによる課題解決プログラムにおける離島地域のシーズ検証：ポスト COVID-19 社会を踏まえた新たな形の域学連携に向けて	長崎県立大学地域創造学部 公共政策学科
3	九州山間地域におけるジビエの商品化によるローカルフードシステムの構築	鹿児島大学法文教育学域 教育学系

九経調地域研究助成委員会 委員

	氏名 (敬称略)	所属	役職	備考
1	安浦 寛人	九州大学	理事・副学長	
2	松田 美幸	福津市	副市長	
3	柴田 建哉	(株)西日本新聞社	社長	
4	磯崎 隆郎	(株)日本政策投資銀行	九州支店長	
5	高木 直人	(公財)九州経済調査協会	理事長	委員長

注) 委員の所属・役職は、委員委嘱時 (令和2年4月)

2. 講演会・セミナー事業

当会では研究成果を広く伝えるために、定例の講演会やセミナーを各地で開催している。令和2年度の当会主催の講演会・セミナーは47回であった。

(1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等

①九州経済白書説明会 (計15回)

2020年版九州経済白書を令和2年2～3月に九州・沖縄・山口12会場で説明会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、6会場(北九州、久留米、佐賀、大分、宮崎、下関)が無期延期となった。8月上旬に下関を除く5会場については、WEBセミナー形式で説明会を開催した。

2021年版九州経済白書については、令和3年2～3月に九州・沖縄・山口の各地域向けに、WEBセミナー形式で説明会を10回開催した。

2020年版九州経済白書説明会

地区	日程	会場	共催・後援機関	説明者	参加者数
北九州	8月5日 (水)	WEB開催	(株)ふくおかフィナンシャルグループ 北九州商工会議所 (一社)西日本工業倶楽部 FFG ビジネスコンサルティング	■次長	47人
久留米	8月3日 (月)	WEB開催	(株)筑邦銀行 (株)ちくぎん地域経済研究所 久留米商工会議所	■次長	11人
佐賀	8月7日 (金)	WEB開催	(株)佐賀銀行	■次長	19人
大分	8月6日 (木)	WEB開催	(株)大銀経済経営研究所 (株)大分銀行	■次長	28人
宮崎	8月3日 (月)	WEB開催	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	■次長	17人

2021年版九州経済白書説明会

地区	日程	会場	共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡 北九州	2月5日 (金)	WEB開催	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (一社)西日本工業倶楽部 福岡商工会議所 北九州商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング (後援)	■次長	230人
久留米	3月9日 (火)	WEB開催	(株)筑邦銀行 (株)ちくぎん地域経済研究所 久留米商工会議所	■部長	34人
佐賀	3月5日 (金)	WEB開催	(株)佐賀銀行	■次長	16人
長崎 佐世保	2月12日 (金)	WEB開催	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)十八親和銀行 (株)長崎経済研究所 佐世保商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング (後援)	■部長	138人
熊本	2月15日 (月)	WEB開催	(株)肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	■部長	84人
大分	3月11日 (木)	WEB開催	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	■次長	37人
宮崎	2月24日 (木)	WEB開催	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	■次長	34人
鹿児島	2月19日 (金)	WEB開催	(株)鹿児島銀行 (株)九州経済研究所	■部長	80人
沖縄	2月16日 (火)	WEB開催	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	■次長	87人
山口	3月10日 (水)	WEB開催	(株)山口銀行 (一財)山口経済研究所	■次長	33人

②「30年後に向けた九州地域発展戦略」説明会・勉強会

創立70周年記念事業で取りまとめた「30年後に向けた九州地域発展戦略」の活用を促すため、企業・団体の依頼に応じて説明会・勉強会を開催している。令和2年度は新型コロナウイルスにより会合が中止となる等の影響があったものの、(一社)九州経済連合会の「九州将来ビジョン検討特別委員会」をはじめ、計6回の会合に講師として参加した。

(2) 定例の講演会・セミナー

①九経調交流会（計1回）

当会会員との交流を目的に毎年開催している。令和2年度は懇親会を中止して講演会のみとし、会場とWEB上で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
1月28日 (木)	【特別講演】「LINE流"地方拠点"の在り方九州から新しい価値を創造し続けるには」	LINE Fukuoka(株) 取締役 COO ■■■■■ 氏	157人

②研究報告会（計1回）

令和2年度は、前年度の幹事会提案に基づいて「リカレント教育先進地を目指して～九州地域の新たな人材戦略」をテーマとした報告会を会場とWEB上で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
10月26日 (月)	リカレント教育先進地を目指して～九州地域の新たな人材戦略	■■■■■ 主任研究員	113人

③アジア経済講演会（計1回）

昭和37年以来、アジア経済研究所との共催で毎年開催している。令和2年度は台湾をテーマに、WEBセミナー形式で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
3月17日 (水)	『米中摩擦』『ポストコロナ』下の台湾	ジェトロ・アジア経済研究所 地域研究センター長 ■■■■■ 氏 ジェトロ・アジア経済研究所 海外研究 員・海外派遣員(台北) ■■■■■ 氏	64人

備考) ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、九経調の三者共催

④調査技法セミナー（中止）

九州・沖縄・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。令和2年度は新型コロナウイルスのために中止した。

⑤経済講演会（中止）

ふくおかフィナンシャルグループとの共催で著名な経済学者等を招いた講演会を毎年開催している。令和2年度は新型コロナウイルスのために中止した。

（3）BIZCOLIでのセミナー・イベント

BIZCOLIでは、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催している。令和2年度は合計29回を実施した。新型コロナウイルス感染拡大を受けて、4月はセミナー開催を中止していたが、5月よりWEBセミナー形式で再開した。

①イブニングセミナー（計16回）

当会研究員や当会月報への寄稿者によるセミナーを毎月開催している。5、6月は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する特集で昼夜2回ずつ開催したほか、文化資源と地域の魅力、九州企業のSDGs経営、新国富指標などのセミナーを開催した。また、幹事会提案の自主研究テーマ「九州の次世代産業」と「感染症・自然災害に対応した地域づくり」についても研究成果を報告した。

日程	テーマ	講師	参加者数
5月12日 (火)	新型コロナウイルス感染拡大による九州経済への影響【昼の部】	■■■■ 部長、■■■■ 主任研究員、■■■■ 研究主査、■■■■ 研究員	85人
5月12日 (火)	新型コロナウイルス感染拡大による九州経済への影響【夜の部】	■■■■ 部長、■■■■ 主任研究員、■■■■ 研究主査、■■■■ 研究員	74人
6月9日 (火)	2020年度九州経済見通し緊急改訂～新型コロナウイルス感染拡大の影響～【昼の部】	■■■■ 部長、■■■■ 主任研究員、■■■■ 研究主査、■■■■ 研究員	76人
6月9日 (火)	2020年度九州経済見通し緊急改訂～新型コロナウイルス感染拡大の影響～【夜の部】	■■■■ 部長、■■■■ 主任研究員、■■■■ 研究主査、■■■■ 研究員	73人
6月16日 (火)	2019年度九経調地域研究助成・顕彰事業受賞者論文発表	(一社) Togetherland 代表理事 ■■■■ 氏 ㈱YOUI 代表取締役 ■■■■ 氏 (一社) ゆずりは 代表理事 ■■■■ 氏 ■■■■ 主任研究員	23人
7月14日 (火)	文化資源と都市・地域の魅力	熊本大学 大学院人文社会科学研究部 教授 ■■■■ 氏、■■■■ 主任研究員	34人
8月11日 (火)	九州企業のSDGs経営	九州経済産業局 総務企画部 企画調査課長 ■■■■ 氏 元長崎大学 グローバル連携機構 助教 ■■■■ 氏 ■■■■ 主任研究員、■■■■ 研究主査	50人
9月8日 (火)	九州の次世代産業（上）	■■■■ 主任研究員、■■■■ 研究員、■■■■ 研究員	40人
10月13日 (火)	九州の次世代産業（下）	■■■■ 主任研究員、■■■■ 研究員、■■■■ 研究員、■■■■ 研究員	38人
11月10日 (火)	新国富指標を用いた持続可能な地域づくり	九州大学大学院工学研究院 都市環境システム工学 助教 ■■■■ 氏 九州電力㈱ 戦略企画グループ 課長 ■■■■ 氏 九州大学大学院工学研究院 都市環境システム工学 学術研究員 ■■■■ 氏	35人
12月8日 (火)	感染症・自然災害に対応した九州の地域づくり	■■■■ 常務理事、■■■■ 部長、■■■■ 主任研究員	29人

1月13日 (水)	九州の新たな1年	事業構想大学院大学 客員教授 ■■■■■氏 ■■■■■研究主査	42人
1月19日 (火)	2021年度九州経済見通し	■■■■■主任研究員、■■■■■研究員	64人
2月10日 (水)	東九州の広域交通インフラの未来	大分県 企画振興部交通政策課 地域交通班 主幹(総括) ■■■■■氏 大分市 企画部企画課 公共施設マネジメント推進室 参事補 ■■■■■氏 ■■■■■部長	43人
3月9日 (火)	九州新幹線全線開業10年の効果と影響	青森大学 社会学部 教授 ■■■■■氏 ■■■■■次長	43人
3月18日 (木)	九州における豪雨被害の今後リスク ～今は九州受難の時代の始まりなのか～	九州大学 名誉教授 ■■■■■氏	34人

②地域経営セミナー（計5回）

ビジネスの最前線で活躍する講師による経営スキルアップセミナーを、WEBセミナー形式で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
6月25日 (木)	地域公共交通を考える	大分大学 経済学部 教授 ■■■■■氏 ■■■■■次長	71人
7月28日 (火)	「ポスト・コロナ」時代の新たなコミュニケーション～AIチャットボットを活用した災害・緊急時のリアルタイムコミュニケーション～	(株)ピースポーク 代表取締役 ■■■■■氏	16人
8月27日 (木)	未来会計セミナー With コロナにおける企業の生き残る術	(株)IG プレーン 取締役 ■■■■■氏	23人
10月8日 (木)	100年に一度の大変革 ～九州の自動車産業集積への影響と展望～	名城大学 経営学部 教授 ■■■■■	59人
12月10日 (木)	ハテナ?から始まるはじめてのWEB担当者セミナー「何から始めたらいいかかわからない方のためのWEBサイト運用法」	(株)AliveCast チームマネージャー ■■■■■	12人

③共催セミナー（計3回）

令和2年度は九州産業大学、福岡管区气象台と共催によりWEBセミナー形式で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
7月31日 (金)	第5回九州産業大学×BIZCOLI コラボセミナー 消費者の潜在意識に迫るニューロマーケティング～スポーツ中継時の企業広告の認知効果～	九州産業大学 人間科学部スポーツ健康科学科 教授 ■■■■■ 九州産業大学 人間科学部スポーツ健康科学科 准教授 ■■■■■	27人
2月3日 (水)	令和2年度 WXBC セミナー in 福岡 ～気象データをビジネスに！～	福岡管区气象台 総務部業務課 情報利用推進官 ■■■■■ 松嶋主任研究員	106人
2月19日 (金)	第6回九州産業大学×BIZCOLI コラボセミナー 地域中堅企業の成長ロジック ～地域からグローバルマーケットへ～	九州産業大学 商学部経営・流通学科 教授 ■■■■■ 日本大学 商学部経営学科 教授 ■■■■■	36人

④九州国立博物館応援セミナー（計1回）

九州国立博物館の特別展にあわせて、WEBセミナー形式で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
2月5日(金)	特別応援セミナー「奈良 中宮寺の国宝」	九州国立博物館 学芸部長 [REDACTED]	58人

⑤サイエンス・カフェ（計4回）

サイエンス・カフェは、九州大学が企画して当会が主催して行う科学者による市民向け勉強会で、大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題提供している。令和2年度はZoomのミーティング機能を活用し、講師からも参加者の顔が見える形で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
7月10日(金)	熱を電気に変換する分子ロボットの謎に迫る！	東京大学大学院理学系研究科 教授 [REDACTED]	14人
9月25日(金)	ブラックホールの謎に迫る！	国立天文台科学研究部 准教授 [REDACTED]	26人
12月11日(金)	ふたごの個性の謎に迫る！	九州大学生体防御医学研究所 准教授 [REDACTED]	37人
3月5日(金)	万能薬にもなるメッセンジャーRNAの謎に迫る！	京都府立医科大学 大学院 医学研究科 医系化学 准教授 [REDACTED]	27人

⑥BIZCOLI 倶楽部（中止）

BIZCOLI 倶楽部は、教養を深める少人数セミナーとして平成27年度に開始した。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止した。

日程	テーマ	講師	参加者数
2月4日(木)	新型コロナ後の新たな日常に向けて	(株)日本総合研究所 主席研究員 [REDACTED]	—

⑦文化アートイベント（中止）

毎年、アートと地域づくりに関するテーマで開催している。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止した。

⑧ビッグデータセミナー（中止）

会員企業におけるAIやビッグデータの活用を促進するため、情報提供のためのセミナーを開催している。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止した。

3. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLIは、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用する人が集まる空間づくりに努めている。知の集積拠点としては、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。知の交流拠点としては、セミナーやイベントを開催して、人が集まり、知的刺激を受ける場を提供している。知の創造拠点としては、企業との共同展示を通じて、アイデアの創出や発想の転換を促進している。また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供しており、企画書作成や自己研鑽の空間として活用されている。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が福岡県を含む7都府県に発令されたことを受け、BIZCOLIは4月8日より5月17日まで休館した。再開後は、来館時の消毒・検温・健康管理カードへの記入を来館者をお願いするほか、館内の座席数を減らして営業した。また、安全性を高めるため、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、ビジター・ゲスト利用、会議室使用を制限するなどの対策を講じた。

（1）地域経済図書館としてのサービス

1) BIZCOLI の利用状況

令和2年度の利用者数は12,052人となった。新型コロナウイルスによって、約1カ月に及ぶ休館を余儀なくされたほか、再開後も利用制限を行ったため、利用者数は前年度を8,492人下回り、対前年同期比41%減となった。

BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	年 度	利用者数
平成24年度	8,044人	平成29年度	16,743人
平成25年度	12,238人	平成30年度	18,461人
平成26年度	13,479人	令和元年度	20,544人
平成27年度	15,486人	令和2年度	12,052人
平成28年度	16,984人		

2) 企業・団体との共同展示

BIZCOLIでは、書籍や資料のほか、地域内のプロジェクト、企業の新製品・新サービス、話題のグッズなどを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。令和2年度は行政や企業、団体等と連携して、常設・企画展示を行った。

①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供

九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光推進機構	写真、資料の提供
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
(株)コマンドディー	ドローン実機、ドローン映像、資料など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)スターフライヤー	資料、航空機模型の提供
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
DRATION	ドローンの提供
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(一社)日本内部監査協会	書籍、資料の提供
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	「九州の未来力」関係資料
福岡市	県作成のパンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など

②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
国連世界食糧計画	レッドカップキャンペーンの資料、グッズの提供
絶景九州	写真の展示（パネル、タブレット）
(株)ナカバヤシ	脱プラ・廃プラシリーズ「asue」商品、資料の提供
(株)野村総合研究所	パネル「未来年表 2019-2100」の展示
(株)ヤッホーブルーイング	商品、マーケティング関連書籍の展示

(2) 講演会・セミナー会場の運営

BIZCOLI ではミーティングルームの提供を行っている。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために定員を半分に制限し、緊急事態宣言中はミーティングルームの提供を中止した。利用件数は89件となり、収益額は対前年同期比72%減の56万9千円となった。

(3) スキルアップのための個室空間の提供

BIZCOLI では、ビジネスに関する企画や自己研鑽のために集中できる空間として、マイデスクゾーン（個室）を提供している。令和2年度は延べ1,682時間の利用があり、収益額は対前年同期比42%減の16万8千円となった。

4. 経済団体等支援事業

(1) 福岡経済同友会の事務局

会員数 459名 (3月末現在)

令和2年度の主な活動 (福岡経済同友会/九州経済同友会)

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常任幹事会、幹事会の開催 ・ 例会の開催 ・ 各委員会における講演会、視察会の開催 ・ 九工大発ベンチャー企業と会員とのビジネスマッチング会 ・ 県立高等学校への出前講座の開催 ・ 春秋会 (ゴルフコンペ) ・ 次世代経営道場 (かたらん会) ・ オンラインDEカップリングパーティ
九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表幹事会 ・ 企画委員会 ・ 九州はひとつ委員会 ・ 九州地域戦略会議、同幹事会、同会議で実施が決定した個別プロジェクト会議への参加 ・ 九州経済を考える懇談会

*その他、講演会や会合などを開催 上記を含む総会合数 122回 (うち共催・後援 13回)

(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州を代表する経済団体のトップが、九州経済の現状・将来動向に関する重要課題について、認識の共有と課題解決の方向性について議論するものである。平成22年度に「地域経営を考える政策懇談会」として開始され、平成25年1月から現在の名称に変更した。(一社)九州経済連合会、(一社)九州オープンイノベーションセンター、(公財)九州経済調査協会の三者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネーターを務めている。令和2年度は次の通り開催した。

No.	日時・場所	テーマ	参加者
第1回	7月13日(月) (一社)九州経済連合会	1) 九州オープンイノベーションセンター(KOIC)の設立目的・事業内容について 2) with コロナ・after コロナに向けての課題共有と意見交換	(一社)九州経済連合会 会長 ■■■氏 (座長) 九州商工会議所連合会 会長 ■■■氏 九州経済同友会 代表幹事 ■■■氏 九州経営者協会 会長 ■■■氏 (一財)九州オープンイノベーションセンター 会長 ■■■氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 ■■■氏 (コーディネーター)
第2回	11月16日(月) (一社)九州経済連合会	DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するデジタル人材の育成	
第3回	3月2日(火) (一社)九州経済連合会	1)コロナ禍を契機としたサプライチェーンの見直しと本社機能の地方分散の動きを踏まえた九州の取組み 2)九州デジタル経営塾について 3)2021年度「九州経済を考える懇談会」のあり方について	

(3) 地域政策デザインスクールの事務局

「地域政策デザインスクール」(理事長： ██████████ 九州大学 理事・副学長) は、社会人と九州大学院生を対象に、自律的な地域経営を担う高度人材の育成と、社会課題の解決に貢献する教育・研究を目的に、平成 22 年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州オープンイノベーションセンター、(株)西日本新聞社、福岡地域戦略推進協議会、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

令和 2 年度は、55 名(受講生 35 名、聴講生 20 名)が受講している。受講生は、飯塚市、那珂川市、みやま市、東峰村、佐賀県基山町の 5 自治体と連携して政策提言づくりに取り組んだ。新型コロナウイルスの影響で 3 カ月遅れて 7 月に開講し、2 月に政策研究発表会を開催した。

地域政策デザインスクール 講師一覧

氏名	所属
██████	九州大学 理事・副学長
██████	福岡地域戦略推進協議会 事務局長/九州大学 客員准教授
██████	九州大学 教授、科学技術イノベーション政策教育研究センター (CSTIPS) センター長
██████	(株)一平ホールディングス 代表取締役社長
██████	一橋大学 名誉教授
██████	(一社)シェアリングエコノミー協会 事務局長
██████	慶應義塾大学 教授
██████	世界経済フォーラム第 4 次産業革命日本センター スペシャリスト
██████	(一社)九州経済連合会 会長

備考：所属は講師を務めていた時点で記載

(4) 九州地域ソーシャルビジネス・コンソーシアム事務局

休眠預金等活用制度による「ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業」に採択され、その推進母体となるコンソーシアム事務局を幹事団体である当会で運営した。令和 2 年度は、12 月から実行団体(助成団体)の公募を開始し、55 団体からの応募を受け付けた。2 月には外部専門家による審査委員会を開催して 5 団体の助成先を選定した。3 月の理事会において、これまでの経緯や助成先の選定、今後の進め方について説明し、了承された。

助成先

	団体名	所在地	事業名
1	(有)トラスト(コ・ワーケーション推進コンソーシアム)	福岡県	「コ・ワーケーション事業」による九州の地域活性化
2	本城商店(株)	福岡県/九州地域	「捨てるから創るへ」医療機器リサイクルプラットフォームの事業化
3	WorkStep(株)	福岡県/九州地域	ママドラフト会議 for Kyushu Island (九州・山口・沖縄広域圏)
4	(株)よしもとラフ&ピース	沖縄県	沖縄県におけるソーシャルビジネスインキュベーション推進事業
5	(株)ボーダレス・ジャパン	東京都/九州地域	ボーダレスソーシャルバンク(仮称)

5. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を行った。なお、外部主催の講演会への講師派遣、セミナー等への参加・企画協力については、巻末の資料編に掲載している。

対外活動実績

区分	内容	件数等
(1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣	<p>【行政】 九州経済産業局、九州地方整備局、九州農政局、福岡県、長崎県、福岡市、北九州市、糸島市、行橋市、鳥栖市</p> <p>【団体】 九州版炭素マイレージ制度推進協議会、(一社)九州観光推進機構、専門図書館協議会、(公財)日本生産性本部、(公財)飯塚研究開発機構、(一財)九州オープンイノベーションセンター、(公財)経営者顕彰財団、福岡経済同友会、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団、(一社)九州経済連合会、(公財)福岡アジア都市研究所、(一財)機械振興協会、福岡日米協会、ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団、福岡県立図書館、(一社)九州観光推進機構、(特非)アジア・エイジング・ビジネスセンター、九州地域戦略会議新技術挑戦 PT 事務局、九州・大学発ベンチャー振興会議、(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター</p> <p>【民間・大学】 九州電力(株)、(株)福岡放送、福岡大学</p>	就任件数計 41件
(2) 大学への非常勤講師の派遣	九州産業大学、福岡大学 *1コマの派遣は含まず	計2大学 2講座
(3) テレビ・ラジオ等への出演	NHK「おはよう九州・沖縄」、NHK「ニュース 845 福岡」、TNC「CUBE」、KBC「アサデス。」、RKB「今日感ニュース」、TVQ九州放送、読売、TNC「もち浜ストア特報ライブ」、FBS「めんたいワイド」、RKB「タダイマ!」、TVQ「ふくサテ!」、天神コミュニティラジオ FM77.7、JNN、NHK 鹿児島放送局、KYT 鹿児島読売テレビ、KTS 鹿児島テレビ、MBC 南日本放送、KKB 鹿児島放送、KAB 熊本朝日放送、OHK 岡山放送、NHK 熊本放送局、RKB ラジオ	延 39 回
(4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	西日本新聞、日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、大分合同新聞、日本経済新聞電子版ニュース、日経速報ニュースアーカイブ、静岡新聞、沖縄タイムス、日経産業新聞、ニッセイ基礎研究所 Web サイト、共同通信ニュース、日本食糧新聞、ふくおか経済、日刊工業新聞、琉球新報、ディスクロージャー、みずほインサイト、みずほリサーチ、エムデータ TV ウォッチ (NHK)、フクリパ、日刊産業新聞、PR TIMES、山陽新聞、北日本新聞、日経 MJ、日経ビジネス、エムデータ TV ウォッチ、ディスクロージャーその他開示資料、河北新報、東奥日報、ふくおか経済、旬刊旅行新聞、中部経済新聞、FujiSankei Business i.、財界九州、ビジネス・レーパー・トレンド、有明新報、中国新聞セレクト、NETT、ちくぎん地域経済レポート、飛翔、ながさき経済、みやぎん調査月報、FFG 調査月報、colabola、産業立地、地域開発、日本食糧新聞、専門図書館、日本政策金融公庫論集、ふくおか経済、地理等	延 441 件
(5) インターシップの受入等	中村学園大学短期大学部キャリア開発学科	1名

6. 会務運営

(1) 理事会、評議員会、幹事会、企画委員会、参与会の開催

令和2年度は理事会を5回、評議員会を3回開催した。開催にあたってはWEB会議システムを導入し、感染予防に努めた。また、参与会については令和元年度は新型コロナウイルスで中止になったものの、令和2年度は3月に開催した。

①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議案等
6月3日 (水)	第37回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 令和元年度事業報告(案)について 第2号議案 令和元年度決算(案)について 第3号議案 幹事の選任について 第4号議案 参与の委嘱について 第5号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第2項 九経調創立70周年記念事業 最終報告 第3項 その他
6月18日 (木)	第38回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 幹事の選任について
7月31日 (金)	第39回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 幹事の選任について 第2号議案 顧問、参与の委嘱について 第3号議案 九経調地域研究助成事業 助成先の決定について
10月5日 (月)	第40回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和2年度更正予算(案)について 第2号議案 幹事の選任について 第3号議案 顧問、参与の委嘱について 第4号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 令和2年度上期事業報告について 第2項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第3項 幹事会の開催について 第4項 企画委員会の開催について 第5項 その他
3月3日 (水)	第41回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和3年度事業計画(案)について 第2号議案 令和3年度予算(案)について 第3号議案 内閣府への定期提出書類について 第4号議案 幹事の選任について 第5号議案 顧問、参与の委嘱について 第6号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第2項 その他

②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議案等
6月18日 (木)	第25回評議員会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 令和元年度事業報告(案)について 第2号議案 令和元年度決算(案)について 第3号議案 評議員の選任について 【報告事項】 第1項 幹事の選任について 第2項 参与の委嘱について 第3項 九経調創立70周年記念事業 最終報告 第4項 その他
10月15日 (木)	第26回評議員会	【報告事項】 第1項 令和2年度上期事業報告について 第2項 令和2年度更正予算について 第3項 幹事の選任について 第4項 顧問、参与の委嘱について 第5項 幹事会の開催について 第6項 企画委員会の開催について 第7項 その他
3月18日 (木)	第27回評議員会	【報告事項】 第1項 令和3年度事業計画について 第2項 令和3年度予算について 第3項 幹事の選任について 第4項 顧問、参与の委嘱について 第5項 その他

③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議案等
8月14日 (金)	第12回幹事会 (書面)	議案 幹事会副議長の選任について
2月25日 (木)	第13回幹事会	1 新幹事の紹介 2 令和2年度幹事会からの提案による自主研究の報告 3 令和3年度幹事会からの提案による自主研究のテーマ選定 4 その他

④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議案等
12月15日 (火)	企画委員会	1 令和2年度自主研究の報告 2 令和3年度自主研究テーマ(案)について 3 その他

⑤参与会の開催状況

開催日	開催参与会	議案等
3月8日 (月)	第11回参与会	1 2021年版九州経済白書について 2 意見交換

(2) 財務経理・人事労務

新公益法人制度の下、主務官庁である内閣府へは、6月には令和元年度の事業報告・財務諸表等、3月には令和3年度の事業計画書・財務諸表等を提出した。

人事労務については、新たな調査研究ニーズや会員拡大業務へ対応できる人材の採用を進めた。九州大学が主催する地域政策デザインスクール聴講を通じた能力向上を図るとともに、情報技術を活用した分析ツールの勉強会を開催するなどにより、新人・若手研究員の育成に努めた。

(3) 会員維持・拡大

①賛助会員

BIZCOLI やデータサラダ、研究成果の活用、講師派遣、研究員のネットワークなどを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めているものの、令和2年度は新型コロナウイルスによる企業業績悪化の影響を強く受けることとなった。令和2年度の入会は29件、退会は48件であった。賛助会員数は期首589会員から19会員純減して570会員となり、会費実勢額は1億2,505万円となった。

賛助会員の動向

	合 計				
	維持会員	普通会員	個人会員	町村会員	
令和2年度期首	589	75	495	17	2
入 会	29	2	26	1	0
退 会	48	3	44	1	0
増 減	-19	-1	-18	0	0
会員種別変更	1	-1	1	0	0
令和2年度末	570	73	478	17	2

- ・平成27年度末 会員数 576会員
- ・平成28年度末 会員数 574会員
- ・平成29年度末 会員数 583会員
- ・平成30年度末 会員数 593会員
- ・令和元年度末 会員数 589会員
- ・令和2年度末 会員数 570会員
- ・会費実勢額 1億2,648万円
- ・会費実勢額 1億2,574万円
- ・会費実勢額 1億2,649万円
- ・会費実勢額 1億2,791万円
- ・会費実勢額 1億2,784万円
- ・会費実勢額 1億2,505万円

②BIZCOLI 会員

令和2年度は、期首101会員から8会員純減して93会員となった。会費実勢額（月会費×12カ月）は、令和2年度末で750万円となった。

BIZCOLI 会員の内訳（93会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	6	フルタイム+土曜日	7
デイトタイム	11	デイトタイム+土曜日	4
ナイトタイム	35	ナイトタイム+土曜日	14
土曜日	16	合 計	93

(参考)

1. 外部主催の講演会への講師派遣 (計 28 件)

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響があったものの、オンラインでのセミナーの普及に伴い、会員を始めとする外部からの依頼も増え、計 28 の会合へ講師を派遣した。

講師派遣一覧

日程	依頼先	会合名・タイトル	講演者	参加者数
5月29日 (金)	長崎県立大学	地域創造概論(資料配布)	■■■■■	250人
6月8日 (月)	熊本ロータリークラブ	新型コロナウイルス感染拡大による九州・熊本経済への影響	■■■■■	25人
7月21日 (火)	専門図書館協議会	研修委員会：第1回オンライン会議 ～Zoomで繋がる専門図書館～	■■■■■	80人
7月22日 (水)	唐津商工会議所	30年後に向けた九州地域発展戦略と唐津	■■■■■	30人
7月27日 (月)	北九州市立大学	環境都市論 特別講義(対面講義はなし、音声付きパワーポイントを提出)	■■■■■	100人
8月7日 (金)	(一財)機械振興協会経済研究所	BIC ライブラリ講演会	■■■■■	25人
8月27日 (木)	㈱福岡リアルティ 福岡地所㈱	コロナ禍、そして after コロナにおける福岡/九州	■■■■■	60人
9月9日 (水)	三菱電機㈱九州支社	「九州三菱 BI 会」総会	■■■■■	30人
9月11日 (金)	丸紅㈱九州支社	30年後に向けた九州地域発展戦略	■■■■■	50人
9月18日 (金)	三菱電機㈱九州支社	「九州三菱 BI 会」プレイヤー会	■■■■■	30人
9月30日 (水)	中津日田間地域高規格道路促進期成会	中津日田道路シンポジウム WEB 版	■■■■■	9/30～ WEB 配信
延期	東海大学	地域企業家論	■■■■■	-
延期	東海大学	地域企業家論	■■■■■	-
10月16日 (金)	(一社)日本電機工業会	第107回企業研究会 講演会 (WEB)	■■■■■	25人
11月4日 (水)	㈱佐賀銀行唐津ブロック	SDGs 異業種交流会「福岡から見た唐津の観光について」	■■■■■	30人
11月6日 (金)	(一社)日本電機工業会	第108回企業研究会 講演会(WEB)	■■■■■	22人
11月9日 (月)	(一社)九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会	(一社)九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会研修会	■■■■■	100人
11月10日 (火)	長崎経済同友会	例会 九経調 70 周年企画提言 「30年後に向けた九州地域発展戦略」	■■■■■	70人
11月11日 (水)	福岡県	令和2年度九州・山口各県職員合同研修会 基調講演	■■■■■	35人
11月12日 (木)	(一社)福岡市芙蓉会	福岡市芙蓉会令和2年度第1回講演会	■■■■■	45人
11月13日 (金)	日本アイ・ピー・エム㈱	九州フォーラム ディスカッション・イベント 2020	■■■■■	26人

11月16日 (月)	九州ビルディング協会	九州ビルディング協会 11月例会	■■■■■	50人
11月27日 (金)	日本証券アナリスト協会	九州地区交流会 「ベンチャー企業の成長による地域活性化」	■■■■■	22人
11月28日 (土)	大分大学大学院経済学研究科	課題研究講義 「30年後に向けた九州地域発展戦略について～九州経済のポテンシャルと未来像」	■■■■■	20人
12月4日 (金)	青森大学	あおもり新幹線研究連絡会 「東北新幹線は何を変えたか コロナ時代にどう変わるか」	■■■■■	50人
12月4日 (金)	(特非)日本プロジェクトマネジメント協会	「30年後に向けた九州地域発展戦略」	■■■■■	100人
12月8日 (火)	双日㈱	「30年後に向けた九州地域発展戦略」	■■■■■	50人
12月8日 (火)	(公社)日本マーケティング協会	九州の次世代産業 (オンライン講演)	■■■■■	20人
12月25日 (金)	(一社)九州経済連合会	九州経済連合会事務局員勉強会 「2021年度九州経済の見通し」	■■■■■	30人
1月18日 (月)	(一社)九州地域づくり協会	第7回地域づくり政策セミナー「激甚災害への対応とコロナ禍における地域づくり」	■■■■■	150人

2. セミナー等への参加・企画協力 (計 12 件)

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLIの会議室提供などで協力した。

協力実績

日程・場所	主催者	会合名	備考
6月27日(土) ※オンライン開催	福岡大学ベンチャー起業論、NPO 法人 ASIA、(一社)公益資本主義推進協議会、国連経済社会理事会特別諮問非政府機関アライアンスフォーラム財団	公益資本主義公開フォーラム～これからの企業の在り方をともに考える	後援
8月20日(木) 電気ビル共創館	福岡経済同友会	「子どもの貧困」に関する講演会	後援
9月25日(金) ※オンライン開催	(公財)福岡アジア都市研究所	外国人の防災～みんなが助かる社会の構築に向けて～	後援
10月22日(木) ※オンライン開催	㈱アグリガーデンスクール&アカデミー	第1回医農科学のための特別公開講座「Foodと風土の再結合 -食のMBA 拠点の構築を目指して-」	後援
10月27日(火) 福岡大学 *オンライン開催	福岡大学 半導体実装研究所、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団、三次元半導体研究センター、(一社)エレクトロニクス実装学会九州支部	空飛ぶ自動車時代およびスマート社会の到来を見据えた半導体・Beyond 5G・パワエレ・実装技術の現状と未来～2020年度第2回フジコミーティング特別講演会～	共催
11月11日(水) ※中止 電気ビル共創館	福岡経済同友会、福岡県	「子どもの貧困」に関する団体とのマッチングセミナー	後援
11月19日(木) ※オンライン開催	㈱アグリガーデンスクール&アカデミー	第2回医農科学のための特別公開講座「野菜の健康と人の健康 -明らか食品としての野菜表示で生産から販売が変わる-」	後援
12月14日(月) 福岡SRPセンタービル ※オンライン開催	(一社)九州ニュービジネス協議会	第146回ベンチャープラザ二月会	後援

3月4日(木) ※オンライン開催	(一財)九州オープンイノベーションセンター、佐賀県スマート化センター、(公財)くまもと産業支援財団、(公財)大分県産業創造機構、(公財)宮崎県産業振興機構、(一社)鹿児島県情報サービス産業協会、(公財)北九州産業学術推進機構、(公財)九州先端科学技術研究所、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団	「DX 基盤技術(デジタル技術) 無料公開勉強会」	後援
3月8日(月) 福岡 SRP センタービル ※オンライン開催	(一社)九州ニュービジネス協議会	第147回ベンチャープラザ二月会	後援
3月9日(火) 電気ビル共創館 ※オンライン開催	福岡経済同友会、福岡県	「子どもの貧困」に関する講演会	後援
3月9日(火) ※オンライン開催	(公財)福岡アジア都市研究所	九州大学学術研究都市の未来	後援

